

## カリキュラムマップ

### 健康科学部 看護学科

健康科学部 看護学科 ディプロマポリシー

- 【看護学科DP1 知識・理解】①幅広い視野をもち、教養を身につけることができる。
- 【看護学科DP1 知識・理解】②看護専門職に必要な保健・医療・福祉の知識を身につけることができる。
- 【看護学科DP2 思考・判断】①看護上の課題を多面的に探究し、根拠に基づき判断し、課題を解決することができる。
- 【看護学科DP3 技能・表現】①科学的根拠に基づき、看護を実践することができる。
- 【看護学科DP3 技能・表現】②コミュニケーション技術を身につけることができる。
- 【看護学科DP3 技能・表現】③地域包括ケアシステムにおける多職種との連携・協働を図り、看護の役割と責務を果たすことができる。
- 【看護学科DP4 関心・意欲・態度】①豊かな感性と倫理感を養い、対象の多様性を重んじ、人権を尊重することができる。
- 【看護学科DP4 関心・意欲・態度】②地域・国際社会に関心をもち、貢献することができる。
- 【看護学科DP4 関心・意欲・態度】③生涯にわたり、看護専門職として主体的に学習することができる。

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学習目標	DP1-①	DP1-②	DP2-①	DP3-①	DP3-②	DP3-③	DP4-①	DP4-②	DP4-③
0004809	50L01-1019FR-07	総合英語 I [水1]	必修	(1) 教科書に出てくる医療に関する表現を使うことができる。 (2) 医療関係以外の英語の基礎的な表現を使うことができる。 (3) 自分が使える表現を活用して、英語で他者とコミュニケーションができる。	●				●			●	
0004812	50L01-1019FR-10	総合英語 I [水2]	必修	(1) 教科書に出てくる医療に関する表現を使うことができる。 (2) 医療関係以外の英語の基礎的な表現を使うことができる。 (3) 自分が使える表現を活用して、英語で他者とコミュニケーションができる。	●				●			●	
0004902	50L01-1020SR-00	総合英語 II [水1]	必修	(1) 教科書に出てくる医療に関する表現を使うことができる。 (2) 医療関係以外の英語の基礎的な表現を使うことができる。 (3) 自分が使える表現を活用して、英語で他者とコミュニケーションができる。	●				●			●	
0004905	50L01-1020SR-03	総合英語 II [水2]	必修	(1) 教科書に出てくる医療に関する表現を使うことができる。 (2) 医療関係以外の英語の基礎的な表現を使うことができる。 (3) 自分が使える表現を活用して、英語で他者とコミュニケーションができる。	●				●			●	

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学習目標	DP1-①	DP1-②	DP2-①	DP3-①	DP3-②	DP3-③	DP4-①	DP4-②	DP4-③
2000501	50L07-2040SO-00	教育課程論 [整看]	自由	学校教育において教育課程が有する役割・機能・意義を理解する。□ 教育課程編成の基本原理及び学校の教育実践に即した教育課程編成の方法を理解する。□ 教科・領域・学年をまたいでカリキュラムを把握し、学校教育課程全体をマネジメントすることの意義を理解する。□	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2001302	53L07-3002FO-00	生徒指導の理論及び方法 [看]	自由	1 生徒指導の意義と原理について理解を深める。 2 教育課程と生徒指導、学校における生徒指導体制について理解を深める。 3 児童生徒の発達特性を踏まえた問題行動への対応のあり方について理解を深める。 4 課題解決に向けた実践力を身につける。	●				●		●	●	
2004001	50L07-2041FO-00	教育方法論（情報通信技術の活用を含む） [整・看]	自由	1.授業を支える学習理論、教授理論について理解し、実際の授業への適用について考えることができる。 2.授業案作成の意味と方法を知り、それを用いて目的に合った指導案を作成できる。 3.情報教育の重要性と教育効果および学校現場での用いられ方について理解し、自身でも情報機器活用することができる。	●				●		●	●	
2004401	53P07-4003FO-00	養護実習指導	自由	・養護実習の意義と目的について理解し実習中の心得を身につける ・養護実習は、観察・参加・実施の三形態で行われることを理解し、養護実習への意欲を高める ・保健指導、保健教育の指導案を作成し、実践できるようになる ・適切な応急手当てができる	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2004501	53P07-4004IO-00	養護実習 I	自由	・保健室の機能及び養護教諭の果たすべき役割について理解する。 ・児童生徒に生じやすい心身の健康問題の特質を把握する。 ・心身の健康問題に対して、個別的、組織的に対応することへの重要性を理解する。	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2004601	53P07-4005IO-00	養護実習 II	自由	・実習校における児童・生徒のニーズ理解に努める。 ・実習校における養護教諭の実践を学び、健康課題を解決する取り組みについて理解を深める。 ・個別の健康相談・健康相談活動、集団に対する保健教育を実施することで、養護教諭としての専門的な能力を身につける。 ・実習校で得られた課題を、今後の大学における学びに生かす。	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2004701	50P07-2044FO-00	教職インターンシップ	自由	・教師の仕事の全体像が把握できる ・学校で働くことを体験し、教育の内容と方法に関わる技能を身につけることができる。	●	●	●	●	●		●	●	●

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学習目標	DP1-①	DP1-②	DP2-①	DP3-①	DP3-②	DP3-③	DP4-①	DP4-②	DP4-③
2004802	53S07-3006IO-00	教職実践研究 [看]	選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校教育の基本と教員としての必要な知識を理解することができる。</li> <li>・ 養護教諭として、保健教育、保健管理、組織活動等で求められる役割を理解できる。</li> </ul>	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2005301	50L07-1045SO-00	教育原論 [整・看]	選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育の本質、目的および意義を理解できる。</li> <li>・ 教育に関する重要な諸概念（教育、子ども、学力、発達、学習、ジェンダーなど）を理解できる。</li> <li>・ 教育における学校・家庭・共同体の役割を理解できる。</li> </ul>	●				●		●		
2005501	50L07-3046IO-00	総合的な学習の時間の指導法	自由	「知識基盤社会」の時代において、総合的な学習（探究）の時間は、変化の激しい社会に対応して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てることがねらいであり、思考力・判断力・表現力を高める指導ができるようにする。	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2005601	53L07-1086FO-00	教職概論 [看]	自由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもと学校が今どうなっているのかを知り、教育への問題意識を育むことができる。</li> <li>・ 多忙化する教育・学校現場の現状を理解し、幅広い視野から物事を見る目と確かな教育観・教師観の基礎を育むことができる。</li> <li>・ 教職への目的意識を高めるとともに、教師に求められる資質・能力を探究し、それを養う態度を育むことができる。</li> </ul>	●				●		●	●	
2005701	53L07-1007FO-00	教育制度論 [看]	自由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現代公教育制度の意義・原理・構造について、その法的・制度的仕組みに関する基礎的知識を身に付けるとともに、そこに内在する課題を理解できる。</li> <li>・ 学校と地域との連携の意義や地域との協働の仕方について、取り組み事例を踏まえて理解できる。</li> <li>・ 学校の管理下で起こる事件、事故及び災害の実情を踏まえて、学校保健安全法に基づく、危機管理を含む学校安全の目的と具体的な取組を理解できる。</li> </ul>	●						●		●
2005801	53L07-2008SO-00	教育課程論 [看]	自由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校教育において教育課程が有する役割・機能・意義を理解する。</li> <li>・ 教育課程編成の基本原則及び学校の教育実践に即した教育課程編成の方法を理解する。</li> <li>・ 教科・領域・学年をまたいでカリキュラムを把握し、学校教育課程全体をマネジメントすることの意義を理解する。</li> </ul>	●						●		●
5100902	50L02-2047FE-00	臨床心理学 [整・看]	選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業の目標は、まず臨床心理学とそれを用いた心理的援助を理解することです。</li> <li>・ この後に、自分自身の内面の理解、自分が将来目指す職業にどのように関係するかということ、利用する側の視点で考えることなどが出来ることを目指します。</li> </ul>	●	●			●				
5101002	53L02-3009FE-00	薬理学 [看]	必修	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 薬物の作用機序、生体への効果、体内動態、有用性・有害性を説明できる。</li> <li>2) 各系統別疾患に用いられる薬物について説明できる。</li> <li>3) 薬物の主な副作用について説明できる。</li> </ol>		●							

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学習目標	DP1-①	DP1-②	DP2-①	DP3-①	DP3-②	DP3-③	DP4-①	DP4-②	DP4-③
5101102	53L03-2010SR-00	微生物学・免疫学（感染症学を含む）[看]	必修	① 微生物（細菌・真菌・原虫・ウイルス）の性質について、基本的な事項を説明できる ② 感染とその経路、および感染症の予防について、基本的な事項を説明できる ③ 病原性微生物の性質を知り、感染症と関連付けて説明できる ④ 消毒や滅菌の必要性や方法について説明できる ⑤ 免疫のしくみについて基本的事項を説明できる ⑥ アレルギーと自己免疫疾患について説明できる ⑦ ワクチン（予防接種）・血清療法についてメカニズムやリスクを説明できる ⑧ 免疫の異常と疾患について、基本的な事項を説明できる。	●	●	●	●					
5102403	53L02-3011FR-00	リハビリテーション医学 [看]	選択	①リハビリテーションの概念や歴史についての概要を理解する。 ②障害についてその神経解剖的機序や運動学的意味を理解する。 ③リハビリテーション医療とは何かを理解する。 ④リハビリテーション看護とは何かを理解する。 ⑤移乗動作などの具体的介助技術について、リハビリテーション医学の視点で実践できる。		●	●	●		●			●
5302801	53L02-2012FE-00	学校保健【養護教諭】	選択	学校におけるヘルスプロモーション活動についての理解を深め、集団における保健教育、教科における保健教育については模擬授業を通して、健康診断、救急処置、学校環境衛生検査などの保健管理については実習を通して、教育現場に対応できる実践的な能力を身につけていく。	●	●	●	●	●	●	●	●	●
5302802	53L02-3012FE-01	学校保健【保健師】	選択	・学校における保健教育、保健管理、保健組織活動についての内容を理解し説明することができる。 ・養護教諭は、学校におけるヘルスプロモーション活動の担い手であることを理解し、求められる役割について説明することができる。	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7100101	53L03-1013FR-00	人体の構造・機能論Ⅰ	必修	・解剖学用語、医学用語を理解し、適切に用いることができる。 ・循環系に関わる構造を理解し、肺循環と体循環を説明することができる。 ・呼吸器系を上気道と下気道に区分し、説明することができる。 ・消化器系を構成する消化管・外分泌腺などを説明することができる。 ・骨格の構成要素を説明することができる。 ・主要な骨格筋の形態を理解し、その作用を模倣することができる。		●							●
7100201	53L03-1014SR-00	人体の構造・機能論Ⅱ	必修	・中枢・末梢神経の基本的な形態を理解し、説明することができる。 ・神経系の形態を踏まえ、その役割を説明することができる。 ・感覚器系の基本構造とその役割を伝導路を踏まえて説明することができる。 ・内分泌腺とその標的器官の関係性を説明することができる。 ・泌尿器系の構造を尿の生成と再吸収の過程を踏まえ、説明することができる。 ・男女の生殖器の形態の違い、およびその役割を説明することができる。		●							●

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学習目標	DP1-①	DP1-②	DP2-①	DP3-①	DP3-②	DP3-③	DP4-①	DP4-②	DP4-③
7100301	53P03-2015FR-00	人体構造・生理機能実習	必修	1) 各器官系の調整役をする神経系・内分泌系と各器官間との相互作用を血液、呼吸器系、循環器系から説明できる。 2) 身体の内外環境の様々な変化によってもたらされる生体の反応を理解し、生体内での内部環境の恒常性がどのように保たれているかについて、考え、説明することができる。	●	●	●	●					
7100501	53L03-1016FR-00	栄養学（食品学を含む）	必修	1) 栄養と代謝、エネルギー産生の仕組みを理解する。 2) 栄養アセスメントの方法、検査値の意味を理解する。 3) 糖質・脂質・蛋白質の構造、働き、代謝を理解する。 4) 3大栄養素の消化酵素、消化系ホルモンと消化管の構造、機能を理解する。 5) ビタミン・ミネラルの働きと欠乏・過剰症について理解する。 6) 各栄養素を含む代表的な食品を理解する 7) 「日本人の食事摂取基準」の考え方と重要な数値を理解する。 8) ライフステージ各期における栄養を理解する。 9) 疾患別栄養、経管栄養、非経口栄養の種類と概要を理解する。 10) 治療薬の効果に影響する代表的な食品を理解する。	●	●	●	●					
7100601	53L03-2017FR-00	疾病・治療Ⅰ（総論）	必修	1) 疾病の原因、分類の基本について説明できる。 2) 細胞および組織の損傷と生体の反応について説明できる。 3) 疾病の分類ごとの病態生理について説明できる。 4) 疾病の症状、徴候の基本について説明できる。 5) 疾病の診断と治療の基本について説明できる。		●							
7100701	53L03-2018FR-00	疾病・治療Ⅱ（呼吸・循環・消化器系、神経系）	必修	1) 呼吸器疾患、循環器疾患、消化器疾患、神経疾患の重要な内科系疾患の病態について説明できる。 2) 呼吸器疾患、循環器疾患、消化器疾患、神経疾患の重要な内科系疾患の症状、徴候、検査所見、診断について説明できる。 3) 呼吸器疾患、循環器疾患、消化器疾患、神経疾患の重要な内科系疾患の治療について説明できる。		●							
7100801	53L03-2019SR-00	疾病・治療Ⅲ（腎泌尿器、内分泌・代謝、血液、免疫、感染症）	必修	1) 腎疾患、内分泌代謝疾患、血液疾患、免疫系疾患、感染症の重要な内科系疾患の病態について説明できる。 2) 腎疾患、内分泌代謝疾患、血液疾患、免疫系疾患、感染症の重要な内科系疾患の症状、徴候、検査所見、診断について説明できる。 3) 腎疾患、内分泌代謝疾患、血液疾患、免疫系疾患、感染症の重要な内科系疾患の治療について説明できる。		●							

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学習目標	DP1-①	DP1-②	DP2-①	DP3-①	DP3-②	DP3-③	DP4-①	DP4-②	DP4-③
7100901	53L03-2020FE-00	疫学	選択	1. 疫学の考え方と基礎概念について理解すること。 2. 疫学研究の結果について適切に理解し、説明・応用 については適切な看護ケアや保健指導能力を育成する。 3. 目標とする国家試験の出題基準と傾向を把握し、その水準の問題に対応できる。		●	●	●					
7102001	53L03-2021SE-00	衛生学	選択	具体的なテーマとしては、感染症、食品衛生、精神保健、環境衛生、産業安全衛生、アレルギー問題をとり上げ、実務に携わるに際して自信を持って臨める確実な知識の運用を旨とする。また、将来、行政における保健政策の履行や地域医療における病診連携や院内チーム医療の一員として働くことの意義と、そのために必要な調整能力やコミュニケーション能力の育成を図る。					●	●			●
7102102	53L03-1022SR-00	公衆衛生学	必修	健康の概念、予防医学の基礎・健康増進から始まり、さらに感染症対策を知り、ライフサイクルに応じた母子保健、学校保健、産業保健、成人・高齢者保健、精神保健地域保健、および国際保健、環境衛生の各応用領域の基礎を幅広く学ぶ。その上で、社会保障と保健医療福祉の制度及び医療法・医療安全の確保について学ぶ。将来看護師・保健師として働く際、医療現場での柔軟な対応力を身につけることを旨とする。	●	●				●		●	
7102301	53L03-2023FR-00	保健統計学	必修	1. 保健統計分野で用いられる用語や定義について理解し、説明できる。 2. 公表されている保健統計データについて理解し、臨床現場での利用と公衆衛生上の意義を説明できる。 3. 記述統計学と推測統計学の違いが説明できる。 4. 示されたデータに関して検定や推定ができる。		●	●	●					●
7102401	53L03-3024FE-00	産業保健看護論	選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>「労働と健康の調和を図る」看護活動を通し、イキイキ働く支援方法の実践と役割を学ぶ</li> <li>働く人々の安全と健康を確保する継続的で計画的な心身両面への健康づくりを考える</li> <li>将来的に衛生管理者として活動できる知識・理論・技術を習得する</li> <li>健康管理を経営的視点から捉えた健康経営の推進と意義を考える</li> </ul>		●	●		●		●	●	●
7102601	53L03-1025FE-00	養護教諭	選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校保健における養護教諭の役割が理解できる。</li> <li>養護教諭の職務である保健教育、保健管理、保健組織活動についての内容を理解し説明することができる。</li> <li>養護教諭は、学校におけるヘルスプロモーション活動の担い手であることを理解し、求められる役割について説明することができる。</li> </ul>	●	●	●	●	●	●	●	●	●

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学習目標	DP1-①	DP1-②	DP2-①	DP3-①	DP3-②	DP3-③	DP4-①	DP4-②	DP4-③
7102701	53L03-3026FE-00	健康相談活動の理論及び方法	選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒のこころの健康課題について把握できる。</li> <li>・こころの健康問題と身体症状との関連を理解できる。</li> <li>・養護教諭が行う健康相談・健康相談活動の進め方について理解し、事例をもとにしたロールプレイングでは適切な対応ができる。</li> </ul>	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7102801	53L02-3027FE-00	スポーツ栄養学[看]	選択	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.現代の食生活の問題点と健康増進、生活習慣病との関連を理解する。</li> <li>2.健康維持増進から競技力向上までを含めた栄養と食事、運動との関連について理解する。</li> <li>3.スポーツ活動に伴うエネルギー源栄養素の種類と機能、代謝について理解する。</li> <li>4.スポーツ活動に伴うビタミンおよびミネラルの種類と働き、代謝を理解し、欠乏症と過剰症について理解する。</li> <li>5.水分の働きと代謝について理解する。</li> <li>6.エネルギー源栄養素の代謝と相互関連について理解する。</li> <li>7.ウエイトコントロールおよびコンディショニングのための栄養と運動について理解する。</li> <li>8.運動強度や運動時間の違いによる、各エネルギー基質への依存度の変化について理解する。</li> <li>9.競技者のための目的別、そして期分けに適した食事および栄養について理解する。</li> <li>10.健康増進目的および競技力を向上させる物質やサプリメント、特定保健食品、栄養補助食品について知り、それらの効果、リスクおよびドーピング問題について理解する。</li> <li>11.スポーツ活動に伴う相対的なエネルギー不足や栄養障害について理解し、発育発達が著しい成長期の子どもたちに配慮すべき内容がわかる。</li> </ol>	●	●	●	●	●	●			
7103101	53L03-1028FR-00	生理学総論Ⅰ	必修	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 人体を構成している器官系の主要な機能とホメオスタシスの重要性について説明できる。</li> <li>2) 血液とその循環から生体内の物流システムを説明できる。</li> <li>3) 生体の内外に存在する異物から身を守るしくみを説明できる。</li> <li>4) 生体の生命維持に必要なガス交換のしくみが説明できる。</li> <li>5) 生体の生命維持に必要な酸素と栄養素の摂取・代謝のしくみが説明できる。</li> <li>6) 体温調節のしくみが説明できる。</li> </ol>		●	●	●					
7103201	53L03-1029SR-00	生理学総論Ⅱ	必修	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 人体の機能を維持する2つの調節系(神経系と内分泌系)について説明できる。</li> <li>2) 感覚器が外界の変化を情報として受け取り、その情報を調節中枢へ伝えるしくみを説明できる。</li> <li>3) 感覚器からの情報を分析・判断し、指令を運動器に伝える神経系のしくみを説明できる。</li> <li>4) 調節中枢からの指令がどのように運動器に伝わり、その指令が遂行されるしくみを説明できる。</li> <li>5) 代謝産物の排泄のしくみを説明できる。</li> <li>6) 種の保存のしくみを説明できる。</li> </ol>	●	●	●						
7103301	53L03-2030SR-00	疾病・治療Ⅳ(外科系)	必修	国家試験頻出の問題から用語・疾患解説を行い、総合的な病態理解を目標とする。		●							

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学習目標	DP1-①	DP1-②	DP2-①	DP3-①	DP3-②	DP3-③	DP4-①	DP4-②	DP4-③
7103401	53L03-2031FR-00	疾病・治療Ⅴ（小児・母性・精神疾患等）	必修	1. 主な精神疾患と治療を学び、精神に障害をもつ対象を生物学的側面から理解できる。 2. 小児疾病の動向および特徴的な疾病の症状と治療について説明できる。 3. 周産期の異常（妊娠・分娩・産褥・新生児）の病態生理と治療および女性生殖器疾患の病態生理と治療について説明できる。	●	●	●	●			●		●
7103501	53L03-2032SR-00	保健医療福祉行政論Ⅰ（保健・医療・介護・福祉サービスのしくみ）	必修	1. 保健医療福祉行政の基礎的知識を理解し、その根拠を学ぶ 2. 国民の生活背景と保健医療福祉行政の関係性を理解し、説明できる 3. 保健医療福祉行政の連携から保健活動における看護職の役割を考えることができる 4. 保健医療福祉行政を計画・実施・評価・政策提言へのプロセスを住民視点で考えられる	●	●				●	●	●	●
7103601	53L03-3033FE-00	保健医療福祉行政論Ⅱ	選択	1) 保健医療福祉の連携を基盤とした保健活動における保健師の役割を考察できる 2) 保健医療福祉行政を住民参加の視点で保健計画から実施、評価、政策提言、事業化へのプロセスについて、演習を通して考えることができる 3) 意見交換をすることで学修を深めることができる。	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7103701	53L03-2034FR-00	看護と関係法規	必修	1. 看護職に必要な基本的法律を理解できる。 2. 看護職として働くために必要な法律を理解できる。 3. 看護職として働くための根拠や判断基準が理解できる。	●	●	●	●					
7103901	53L03-1035FR-00	美容医療Ⅰ（美容医療概論）	必修	美容医療の概論とその看護について知り、医療の多様性について学ぶことができる。	●				●		●	●	●
7200101	53L04-1036FR-00	看護学概論	必修	1. 看護学の基本概念である人間・健康・環境・看護に関する概要を説明できる。 2. 保健・医療・福祉システムの中での多職種との連携・協働、看護の役割・活動について説明できる。 3. 実践科学としての看護ケアの考え方、基本的方法について説明できる。 4. 人の尊厳を重視し、豊かな人間性と看護者として成長するための倫理観を身につけることができる。 5. 看護の歴史の変遷を踏まえて、看護の位置づけと役割について説明できる。 6. 看護の専門職業人としてどうあるべきかについて考えることができる。	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7200201	53L04-2037FR-00	看護過程論	必修	1) 看護過程の意義・概念と構成要素について理解する。 2) 看護過程を展開する際に基盤となる理論について理解する。 3) 看護過程の各構成要素について理解する。 4) 系統的思考過程を育むために看護過程の展開記録を活用できる。 5) 事例に基づく看護過程の展開について理解する。	●	●	●	●	●	●	●		●



講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学習目標	DP1-①	DP1-②	DP2-①	DP3-①	DP3-②	DP3-③	DP4-①	DP4-②	DP4-③
7200502	53L04-1038FR-00	看護技術Ⅱ（日常生活援助技術）	必修	<ol style="list-style-type: none"> <li>日常生活支援技術を実施するために必要な基礎知識（技術の概要・目的・方法）が説明できる。</li> <li>技術の習得レベルを自己評価し、技術習得に向けた反復練習を実施することができる。</li> <li>看護者としてふさわしい態度で、科学的根拠に基づいて安全で正確な日常生活支援技術を実施することができる。</li> <li>侵襲性の高い技術を実施する際の看護師に求められる責務を表現することができる。</li> <li>看護で求められるコミュニケーション能力を現状より向上できる。</li> </ol>	●	●	●	●	●		●		
7200503	53L04-1038FR-01	看護技術Ⅱ（日常生活援助技術）	必修	<ol style="list-style-type: none"> <li>日常生活支援技術を実施するために必要な基礎知識（技術の概要・目的・方法）が説明できる。</li> <li>技術の習得レベルを自己評価し、技術習得に向けた反復練習を実施することができる。</li> <li>看護者としてふさわしい態度で、科学的根拠に基づいて安全で正確な日常生活支援技術を実施することができる。</li> <li>侵襲性の高い技術を実施する際の看護師に求められる責務を表現することができる。</li> <li>看護で求められるコミュニケーション能力を現状より向上できる。</li> </ol>	●	●	●	●	●		●		
7200504	53S04-1038SR-02	看護技術Ⅱ（日常生活援助技術）	必修	<ol style="list-style-type: none"> <li>日常生活支援技術を実施するために必要な基礎知識（技術の概要・目的・方法）が説明できる。</li> <li>技術の習得レベルを自己評価し、技術習得に向けた反復練習を実施することができる。</li> <li>看護者としてふさわしい態度で、科学的根拠に基づいて安全で正確な日常生活支援技術を実施することができる。</li> <li>侵襲性の高い技術を実施する際の看護師に求められる責務を表現することができる。</li> <li>看護で求められるコミュニケーション能力を現状より向上できる。</li> </ol>	●	●	●	●	●		●		
7200505	53S04-1038SR-03	看護技術Ⅱ（日常生活援助技術）	必修	<ol style="list-style-type: none"> <li>日常生活支援技術を実施するために必要な基礎知識（技術の概要・目的・方法）が説明できる。</li> <li>技術の習得レベルを自己評価し、技術習得に向けた反復練習を実施することができる。</li> <li>看護者としてふさわしい態度で、科学的根拠に基づいて安全で正確な日常生活支援技術を実施することができる。</li> <li>侵襲性の高い技術を実施する際の看護師に求められる責務を表現することができる。</li> <li>看護で求められるコミュニケーション能力を現状より向上できる。</li> </ol>	●	●	●	●	●		●		
7200701	53P04-1039IR-00	基礎看護学実習Ⅰ	必修	<ol style="list-style-type: none"> <li>看護・医療が提供されている場としての医療施設の概要を理解する。</li> <li>医療施設で療養中の人々が、どのように生活されているのかを理解する。</li> <li>看護・医療が提供されている場で、どのような人々がどのように患者の療養生活を支えているのかを知る。</li> <li>医療施設における看護の場、看護活動の実際を知る。</li> <li>看護学生としての責任ある行動をとることができる。</li> <li>自己の看護についての考えを深める。</li> </ol>	●	●			●		●		

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学習目標	DP1-①	DP1-②	DP2-①	DP3-①	DP3-②	DP3-③	DP4-①	DP4-②	DP4-③
7200801	53P04-2040IR-00	基礎看護学実習Ⅱ	必修	1) 対象と援助的な人間関係を築くことができる。 2) 対象のニーズを把握することができる。 3) 対象の看護上の問題を明らかにすることができる。 4) 対象の看護上の問題を解決するための計画を立案することができる。 5) 対象の状況に合わせて計画した看護援助を実施できる。 6) 実施した看護援助を評価・修正できる。 7) 看護学生として、適切な行動をとることができる。 8) 自己の看護観を深めることができる。	●	●	●	●	●	●	●		●
7200901	53L04-1041FR-00	成人看護学概論	必修	1.看護学の位置づけとその対象である『成人とは』を理解できる。 2.成人を取り巻く社会の視点を捉え、就労や家族生活の観点からライフスタイルにおける個人の役割を理解し説明できる。 3.成人期にある人の発達段階と発達課題から、身体的・心理的・社会的な特徴について説明できる。 4.成人期における健康課題とその要因を理解できる。 5.成人保健の動向と保健・医療・福祉政策について理解できる。 6.成人期における看護アプローチに必要な成人教育の概念を理解できる。 7.成人期における看護理論を理解し、説明できる。 8.成人期にある人とその家族に対するコミュニケーション技法を理解できる。 9.成人期における経過別(急性期・周術期・回復期・慢性期・リハビリテーション期・終末期)について理解し、説明できる。 10.成人期におけるがん看護について理解できる。 11.成人期における症状マネジメントについて理解し、説明できる。 12.成人期にある人の健康障害における看護アセスメント方法を説明できる。 13.成人期にある人の健康レベルに応じた看護アセスメント方法の実際を通して、理解を深めることができる。 14.包括ケアシステムの概要を理解できる。 15.成人期における療養生活の場にある人の在宅支援や入退院支援における看護師の役割を理解できる。	●	●	●		●	●	●	●	●
7201001	53L04-2042FR-00	成人看護学方法論Ⅰ(急性期)	必修	1)急性期・救命救急看護の概念を理解する。 2)成人期患者の生命と生活の質を守るための一般的な周術期(術前・術中・術後)看護について、家族支援も含めて理解する。	●	●	●	●	●	●	●		
7201102	53L04-2043SR-00	成人看護学方法論Ⅱ(周手術期・回復期)	必修	1)成人期患者の健康障害別周術期看護について理解する。 2)成人期患者の救命救急看護について理解する。		●	●	●	●	●	●	●	

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学習目標	DP1-①	DP1-②	DP2-①	DP3-①	DP3-②	DP3-③	DP4-①	DP4-②	DP4-③
7201201	53L04-1044SR-00	高齢者看護学概論	必修	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者看護学の位置づけと「高齢者」の定義を理解できる。</li> <li>2. 超高齢化社会の現状を理解し、高齢者看護の必要性を説明できる。</li> <li>3. 高齢者の発達課題と看護理論・概念を理解することができる。</li> <li>4. 高齢者の加齢に伴う身体的・心理的・社会的・スピリチュアルな特徴について理解し、ライフスタイルに応じた看護を理解できる。</li> <li>5. 高齢者のヘルスプロモーションについて理解できる。</li> <li>6. 高齢者の健康リスクに応じた看護アセスメントを理解ができる。</li> <li>7. 高齢者疑似体験を通して高齢者の生活の場を理解し、セルフケア能力を活かした看護支援を考察できる。</li> <li>8. 高齢者に対するコミュニケーションの特徴を理解できる。</li> <li>9. 高齢者の治療や経過別看護の特徴を理解できる。</li> <li>10. エンドオブライフケアについての看護を考察できる。</li> <li>11. 高齢者に対する権利擁護について理解し、高齢者の尊厳について考察できる。</li> <li>12. 高齢者の保健医療福祉の動向と包括ケアシステムについて理解できる。</li> <li>13. 高齢者特有のリスクマネジメントの必要性を理解できる。</li> </ol>	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7201302	53S04-3045FR-00	高齢者看護学方法論	必修	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 高齢者看護学方法論と高齢者の看護アセスメントを学修する目的を理解し意欲的に参加できる。</li> <li>2) 高齢者の状態に応じたコミュニケーション方法を理解できる。</li> <li>3) 高齢者の健康レベルや生活の視点から日常生活を支えるための具体的な看護援助を理解できる。</li> <li>4) 高齢者の日常生活動作・活動範囲の拡大に向けた援助補助具・自助具の活用を理解できる。</li> <li>5) 高齢者の生活機能障害と日常生活動作でのセルフケア能力を理解し、対象の居住環境(医療・介護・在宅)に適したアセスメントができる。</li> <li>6) 高齢者の生活の場を支えるための看護過程の考え方を学修できる。</li> <li>7) 模擬演習を実施し、高齢者看護をするための基本的知識・技術を身につけることができる。</li> </ol>	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7201401	53L04-1046SR-00	精神看護学概論	必修	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 精神の健康と障害のとらえ方について理解できる。</li> <li>2. 心のしくみと人格の発達について理解できる。</li> <li>3. ライフサイクルにおける発達段階の特徴や課題を学び、事例を通して対象を理解できる。</li> <li>4. 学校・職場・地域における精神保健について理解できる。</li> <li>5. 精神医療の歴史的変遷および精神障害者を取り巻く現状と課題について理解できる。</li> <li>6. 精神障害者を支える社会保障制度について理解できる。</li> <li>7. 精神科医療における患者の権利や処遇をめぐる問題について理解できる。</li> </ol>		●	●			●	●		●

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学習目標	DP1-①	DP1-②	DP2-①	DP3-①	DP3-②	DP3-③	DP4-①	DP4-②	DP4-③
7201501	53L04-3047FR-00	精神看護学方法論	必修	1. 代表的な精神疾患の病態および治療を学び、精神に障害をもつ対象を生物学的側面から理解できる。 2. 精神科における主な治療とその看護および倫理的側面について理解できる。 3. 健康障害の段階（病期）に応じた精神科看護の特徴が理解できる。 4. 精神に障害がある対象の理解と必要な看護を考えるうえで、オレムアンダーウッドモデル（理論）を理解できる。 5. 紙上事例を通してオレムアンダーウッド理論を用いた看護過程の展開を行い、看護の必要性が理解できる。 6. 精神科チーム医療における専門職連携と多様な社会資源・サービスについて学び、長期入院患者の地域移行支援・地域定着支援について考え理解できる。 7. コミュニケーションの成り立ちを理解し、患者—看護師関係におけるコミュニケーション技術の基礎を養うことができる。 8. 様々な場で行われる精神看護を通して、精神看護専門看護師の役割を理解できる。		●	●		●	●	●		●
7201601	53P04-3048IR-00	成人看護学実習 I	必修	I. 周手術期にある成人期の患者の状況を分析し、看護過程を展開する。 II. 安全・安楽・自立をふまえて周手術期患者へ看護技術を実施する。 III. 周手術期にある成人期の患者と家族の状況に応じたコミュニケーションに努める。 IV. 医療チームにおける多職種連携の実際と看護の役割を理解する。 V. 専門職業人になる者としての責任を自覚し、問題解決型の学習や倫理的行動に努める。	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7201701	53P04-3049IR-00	成人看護学実習 II	必修	I. 慢性疾患をもつ患者の状況を分析し、看護過程を展開する。 II. 安全・安楽・自立をふまえて慢性疾患患者へ看護技術を実施する。 III. 慢性疾患を持つ患者とその家族とのコミュニケーションの意義を認識し、対象に合ったコミュニケーションに努める。 IV. 慢性疾患患者とその家族への看護の目的と役割を理解する。 V. 専門職業人としての倫理的な態度・行動に努める。	●								
7201901	53P04-3050IR-00	精神看護学実習	必修	1. 対象を身体的、精神的、社会的側面から捉え、対象の置かれた状況を理解できる。 2. 対象がその人らしい生活を送るために必要な看護と対象の自己決定を支援することができる。 3. コミュニケーションを通して対象との関係を発展させ、関係性を築くことができる。 4. 社会復帰施設の実習を通じ、精神保健福祉の知識をもとに、精神障害者の地域定着支援について考えることができる。		●	●	●	●	●	●		●

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学習目標	DP1-①	DP1-②	DP2-①	DP3-①	DP3-②	DP3-③	DP4-①	DP4-②	DP4-③
7202001	53L04-2051SR-00	小児看護学概論	必修	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小児看護の特徴と理念を理解する。</li> <li>2. 小児看護における倫理と子どもの権利を理解する。</li> <li>3. 小児各期の成長発達の特徴を理解する。</li> <li>4. 小児期に特徴的な健康問題と看護援助を理解する。</li> <li>5. 子どもと家族を取り巻く社会のあり方を理解する。</li> <li>6. 子どもの健康を保持・増進するための看護の役割を理解する。</li> <li>7. 健康障害が子どもと家族に与える影響について、説明できる。</li> <li>8. 小児のアセスメントについて、その意義と概要を具体的に述べることができる。</li> </ol>	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7202101	53S04-3052FR-00	小児看護学方法論	必修	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小児期に多い疾患の病態と治療について、説明することができる。</li> <li>2. 健康障害および入院が子どもと家族に及ぼす影響とその看護について説明することができる。</li> <li>3. 演習を通して、小児看護に必要な基礎的看護技術が実施できる。</li> <li>4. 事例を通して、疾患をもつ子どもと家族の看護過程の展開ができる。</li> </ol>	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7202201	53L04-2053SR-00	母性看護学概論	必修	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 母性看護の基盤となる概念や理論、母性看護の目的について理解し、説明できる。</li> <li>2) 母性看護の対象とその特性を理解し、説明できる。</li> <li>3) 女性のライフステージ各期の健康問題について理解し、女性とその家族への健康支援とコミュニケーションのあり方について考えることができる。</li> <li>4) 母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状を説明できる。</li> <li>5) リプロダクティブヘルス/ライツに関する倫理的課題や支援の必要性を説明できる。</li> <li>6) 性と生殖をめぐる諸問題と、リプロダクティブヘルスクアについて説明できる。</li> </ol>	●	●	●	●	●	●	●	●	
7202301	53L04-3054FR-00	母性看護学方法論	必修	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) マタニティサイクル期の女性の身体的、心理・社会的特徴と変化およびマタニティサイクル各期の経過を説明できる。</li> <li>2) 胎児の成長発達と新生児期の母体外生活適応過程および生理的特徴を説明できる。</li> <li>3) マタニティサイクル各期における対象が順調な経過をたどるための看護ケアの特徴と看護者の役割を説明できる。</li> <li>4) マタニティサイクル各期の異常について基礎的な知識と看護を説明できる。</li> <li>5) 演習を通して母性看護に必要な看護技術の目的・方法を理解し、安全・安楽に配慮した母性看護技術が実施できる。</li> <li>6) 褥婦・新生児の紙上事例を通してウェルネスの視点に基づく看護過程の展開ができる。</li> <li>7) 演習を通してマタニティサイクルにある対象者とのコミュニケーションを学ぶとともに、アセスメントを深めるためのコミュニケーションの在り方を考えることができる。</li> </ol>	●	●	●	●	●	●	●	●	

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学習目標	DP1-①	DP1-②	DP2-①	DP3-①	DP3-②	DP3-③	DP4-①	DP4-②	DP4-③
7202401	53P04-3055IR-00	小児看護学実習	必修	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小児の日常生活を通して成長発達段階を理解できる。</li> <li>2. 小児に適したコミュニケーション方法を考え、実践できる。</li> <li>3. 小児科病棟実習では、小児看護方法論で学んだことを元に、健康を障害された小児の病態生理・治療を理解し、健康の回復と成長発達の促進を考慮した看護を理解し、実践できる。</li> <li>4. 保育園実習では、健康な小児の日常生活行動を通して観察し、成長・発達の特徴を理解する。</li> <li>5. 小児科外来実習では、小児科外来の機能および看護師の役割を知り、外来に訪れる対象とトリアージの実際について知る。</li> <li>6. 小児看護学概論で学んだことを元に、小児をめぐる保健（定期健診 ワクチン接種 他）・福祉（福祉サービス 児童福祉施設との連携 他）・教育（院内保育・院内学級 他）の各機関との連携の重要性を理解し、看護の役割について考えることができる。</li> <li>7. 小児との関わりを通して、自己の小児看護観を育むことができる。</li> </ol>		●	●	●	●	●	●	●	●
7202501	53P04-3056IR-00	母性看護学実習	必修	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 妊婦と胎児の健康状態を理解し、妊娠が正常に経過していることが説明できる。□</li> <li>2) 分娩各期の経過から産婦の特徴を理解し、必要な看護を考えることができる。□</li> <li>3) 褥婦が回復し、心身の変化に適応していく過程を理解し、コミュニケーションを図りながら褥婦の経過に応じた個別的な看護（セルフケア支援を含む）を実践できる。□</li> <li>4) 新生児が胎外生活に適応していく過程や生理的変化の実際を理解し、健康状態を維持するための看護を安全・安楽に実践できる。□</li> <li>5) 退院に向けて諸条件を整え、家族を含めた保健指導の必要性が理解できる。□</li> <li>6) 地域における母子保健活動と医療チームの連携について理解し、継続的な看護活動を行う母子保健医療チームの一員としての役割と責任を考え、自覚できる。</li> <li>7) 生命の尊厳について考え、自己の母性観・父性観を深めることができる。</li> </ol>	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7203501	53L04-1057SR-00	公衆衛生看護学概論	必修	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 公衆衛生看護の理念・目的・歴史の変遷が説明できる</li> <li>2) 公衆衛生看護活動の特性について説明できる</li> <li>3) 公衆衛生看護の対象・活動の場と展開の基盤と方法を説明できる</li> <li>4) 地域の人々の健康状態について、とりまく環境と関連させて説明できる</li> <li>5) 公衆衛生看護における管理について説明できる。</li> <li>6) 公衆衛生看護の課題を明確にし、公衆衛生看護の役割と課題が説明できる</li> </ol>	●	●	●	●	●		●	●	●
7203601	53L04-2058SR-00	健康生活支援論 I	必修	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 個人・家族・集団を単位とした対象について理解する。</li> <li>2. 対人支援技術の基本になる主要な保健行動理論を理解し説明できる。</li> <li>3. 健康相談、家庭訪問、健康教育、地域組織活動における保健指導を説明できる。</li> <li>4. 地域保健活動の基盤となる地域診断の目的、方法について説明できる。</li> <li>5. 地域の情報整理、健康課題をアセスメントする方法を理解する。</li> <li>6. 健康教育の目的、方法を理解し、企画案の立て方を理解する。</li> <li>7. 地域ケアシステムとネットワークについて理解し、説明できる。</li> </ol>	●	●	●	●	●		●	●	●

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学習目標	DP1-①	DP1-②	DP2-①	DP3-①	DP3-②	DP3-③	DP4-①	DP4-②	DP4-③
7203701	53L04-3059FE-00	健康生活支援論Ⅱ	選択	1. 地域診断により、地域の健康課題や地域特性を明確化できる。 2. 健康教育のプロセスを体験し、公衆衛生看護活動の展開方法を学ぶ。 3. 感染症集団発生の事例検討を通し、健康危機管理の基礎的技術を学ぶ。 4. 家庭訪問のプロセスを体験し、家庭訪問の基礎的技術を習得できる。 5. 健康相談、健康診査を体験し、個別支援方法の基礎的技術を習得できる。 6. 地域ケアシステム、地区組織活動を理解し、組織的な健康課題解決方法について説明できる。	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7203801	53L04-3060FR-00	公衆衛生看護活動論	必修	1) 発達段階(ライフステージ)別の健康課題に対する保健サービスと保健活動を説明できる 2) 障害者(児)(精神・難病を含む)に対する保健医療福祉施策と保健活動を説明できる 3) 健康危機における保健活動を説明できる 4) 歯科口腔保健活動・地域包括ケアについて、その動向を知り説明できる	●	●	●		●	●	●	●	●
7203901	53L04-4061FE-00	公衆衛生看護管理論	選択	1) 公衆衛生看護管理の目的・構造・機能について実践例をとおして説明できる 2) 地域アセスメント<地域診断>から地区活動へのプロセスを説明できる 3) 公衆衛生看護管理(情報・組織・事業・人事・予算など)について説明できる 4) 健康危機管理として、感染症・災害の保健活動について説明できる 5) 地域ケアの質保証、評価、公衆衛生看護活動の専門的自律を説明できる	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7204001	53P04-4062YE-00	公衆衛生看護学実習Ⅰ	選択	1) 地域特性と対象者の健康問題とその活動体系を把握することができる 2) 地域において健康状態やQOL向上に向けて展開される活動を通して、保健師活動の方法と意義を理解する 3) 健康の保持増進、疾病の回復と予防を目的とする保健医療福祉活動において、保健師が果たす役割・機能を理解する ※なお、当該実習は養護教諭2種免許状および第1種衛生管理者の資格取得要件の内容に準ずる	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7204101	53P04-4063IE-00	公衆衛生看護学実習Ⅱ	選択	1) 学校保健実習 ①学校保健の仕組みについて理解できる。 ②児童・生徒の発達課題および健康増進や疾病予防、健康問題の発見・解決のための活動の実際を知る。 ③保健室の役割、機能と運営について理解する。 ④養護教諭の役割について理解する。 2) 産業保健実習 ①成人期の発達課題と健康問題を理解する。 ②作業環境に合わせた健康課題について理解することができる。 ③産業保健における看護職の役割が理解できる。 ※なお当該実習は養護教諭2種免許状および第1種衛生管理者の資格取得要件の内容に準ずる	●	●	●	●	●	●	●	●	●

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学習目標	DP1-①	DP1-②	DP2-①	DP3-①	DP3-②	DP3-③	DP4-①	DP4-②	DP4-③
7204201	53L04-2064SR-00	看護技術Ⅲ（診療の補助技術）【看A】	必修	1) 診療過程支援技術を実施するために必要な基礎知識（技術の概要・目的・方法）が説明できる。 2) 技術の習得レベルを自己評価し、技術習得に向けた反復練習を実施することができる。 3) 看護師としてふさわしい態度で、科学的根拠に基づいて安全で正確な診療過程支援技術を実施することができる。 4) 侵襲性の高い技術を実施する際の看護師の求められる責務を表現することができる。 5) 看護で求められるコミュニケーション能力を現状より向上できる。	●	●	●	●	●		●		
7204202	53L04-2064SR-01	看護技術Ⅲ（診療の補助技術）【看B】	必修	1) 診療過程支援技術を実施するために必要な基礎知識（技術の概要・目的・方法）が説明できる。 2) 技術の習得レベルを自己評価し、技術習得に向けた反復練習を実施することができる。 3) 看護師としてふさわしい態度で、科学的根拠に基づいて安全で正確な診療過程支援技術を実施することができる。 4) 侵襲性の高い技術を実施する際の看護師の求められる責務を表現することができる。 5) 看護で求められるコミュニケーション能力を現状より向上できる。	●	●	●	●	●		●		
7204301	53L04-2065SR-00	フィジカルアセスメント【看A】	必修	1) フィジカルアセスメントの意義と目的が説明できる。 2) 心理・社会的アセスメントを説明できる。 3) フィジカルアセスメントの基本技術（問診・視診・触診・打診・聴診）を習得できる。 4) シミュレーション演習を通して、対象者に応じた系統的アセスメントの方法を理解できる。 5) 得られた情報（主観的データ・客観的データ）から、対象者の健康状態および生活への影響を判断できる。 6) フィジカルアセスメントを実施するにふさわしい態度を身につけることができる。 *講義・演習では主体的に考える個人の学習が基本です。内容によっては、グループ学習によって協力し合い学びの効果を高めることもあります。提示された課題、事前学習は必ず指示された日時までに行ってください。この授業は、全出席が前提となります。			●	●	●				
7204302	53L04-2065SR-01	フィジカルアセスメント【看B】	必修	1) フィジカルアセスメントの意義と目的が説明できる。 2) 心理・社会的アセスメントを説明できる。 3) フィジカルアセスメントの基本技術（問診・視診・触診・打診・聴診）を習得できる。 4) シミュレーション演習を通して、対象者に応じた系統的アセスメントの方法を理解できる。 5) 得られた情報（主観的データ・客観的データ）から、対象者の健康状態および生活への影響を判断できる。 6) フィジカルアセスメントを実施するにふさわしい態度を身につけることができる。 *講義・演習では主体的に考える個人の学習が基本です。内容によっては、グループ学習によって協力し合い学びの効果を高めることもあります。提示された課題、事前学習は必ず指示された日時までに行ってください。この授業は、全出席が前提となります。			●	●	●				



講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学習目標	DP1-①	DP1-②	DP2-①	DP3-①	DP3-②	DP3-③	DP4-①	DP4-②	DP4-③
7204401	53L04-1066SR-00	地域・在宅看護学概論	必修	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域・在宅看護の動向と社会的背景の変遷について説明できる。</li> <li>2. 地域・在宅看護の対象の特徴について、利用法制度・年齢構成・疾患および障がいの視点から説明できる。</li> <li>3. 地域・在宅の生活者への健康支援の特徴について説明できる。</li> <li>4. 地域・在宅の生活者とその家族に対する看護の特徴について説明できる。</li> <li>5. 訪問看護の目的・役割・機能・仕組みについて説明できる。</li> <li>6. 地域・在宅生活を支える地域包括ケアシステム、多職種・多機関との連携について説明できる。</li> </ol>	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7204501	53L04-2067FR-00	地域包括ケア論	必修	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域包括ケアの概念を理解する。</li> <li>2. 医療、福祉の改革と地域包括ケアについて理解する。</li> <li>3. 地域包括ケアと社会資源について理解する。</li> <li>4. 地域生活を支える快適な住まいと補助制度を理解する。</li> <li>5. 地域包括ケアにおける看護師としての役割と責任を理解する。</li> </ol>	●	●	●		●				
7204601	53S04-2068FR-00	地域・在宅看護学方法論Ⅰ (療養者の理解)	必修	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 地域で生活する療養者の身体的・心理的・社会的特徴を説明できる。</li> <li>2) 暮らしの場で看護実践をするための心構えについて説明できる。</li> <li>3) 地域・在宅看護における時期別の看護について説明できる。</li> <li>4) 地域・在宅で暮らす対象の発達段階、健康状態に応じた看護について説明できる。</li> <li>5) 地域における暮らしを支える看護技術について説明できる。</li> </ol>	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7204602	53S04-3069FR-00	地域・在宅看護学方法論Ⅱ (療養者の看護)	必修	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 地域・在宅看護の特性を踏まえた看護過程の特徴について説明できる。</li> <li>2) 在宅療養者に行われる医療処置に伴う看護について説明できる。</li> <li>3) 在宅療養で用いられている医療機器、衛生材料について説明できる。</li> <li>4) 地域・在宅における療養者の看護過程の事例展開ができる。</li> </ol>	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7204801	53P04-2070IR-00	地域包括ケア実習	必修	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 様々な発達段階にある人々の暮らしを理解するとともに、暮らしが健康に与える影響を理解する。</li> <li>2. 対象者の生活を支える様々な保障制度、社会資源の活用について理解する。</li> <li>3. 病院から地域医療まで、切れ目のない看護の実態を理解する。</li> <li>4. 看護が提供される多様な場を通して看護の役割について理解する。</li> <li>5. 地域包括ケアに従事する多職種の役割と職種間の連携の必要性について理解する。</li> <li>6. 地域医療におけるチーム医療の現状及び課題について考えることができる。</li> <li>7. 各医療・介護施設のスタッフや患者、利用者、家族に対して、専門職業人としての看護師になる者としてのふさわしい身だしなみや態度、そして適切な言葉遣いで接することができる。</li> </ol>	●	●	●	●	●	●			

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学習目標	DP1-①	DP1-②	DP2-①	DP3-①	DP3-②	DP3-③	DP4-①	DP4-②	DP4-③	
7204901	53P04-3071IR-00	地域・在宅看護学実習	必修	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域で暮らす在宅療養者と家族を支える在宅看護について理解できる。</li> <li>2. 在宅療養者とその家族の健康状態や生活状態を総合的にアセスメントし、看護計画を立案、実施評価するプロセスを理解する。</li> <li>3. 在宅療養者とその家族が利用している社会資源について理解し、効果的な利用方法を考察する。</li> <li>4. 訪問看護ステーションの概要、及び地域包括ケアシステムにおける訪問看護師および訪問看護ステーションの役割と機能を理解する。</li> <li>5. 看護学生として責任ある行動をとり主体的に学ぶことができる。</li> </ol>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
7205001	53L04-2072FR-00	成人看護学方法論Ⅲ（慢性期）	必修	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 慢性期にある患者の特徴と看護について理解できる。</li> <li>2) 慢性疾患患者の疾患や治療が、身体・心理・社会的側面に及ぼす影響を理解できる。</li> <li>3) 慢性疾患患者に対するセルフマネジメント、生活の再構築のための看護援助について理解できる。</li> </ol>	●	●	●		●		●		●	
7205101	53L04-2073SR-00	成人看護学方法論Ⅳ（リハビリ期・終末期）	必修	<ol style="list-style-type: none"> <li>1)リハビリテーション看護の概念を知り、看護の役割や機能が理解できる。</li> <li>2)リハビリテーション看護の障害レベルと回復過程における対象及びその家族に与える影響から求められる看護が理解できる。</li> <li>3)リハビリテーション看護における倫理的諸問題と今後の課題について理解できる。</li> <li>4)死を理解し、終末期の定義とその医療・看護について理解できる。</li> <li>5)終末期にある患者・家族の特徴と終末期医療の抱える問題について理解できる。</li> <li>6)緩和ケアの定義を理解し、全人的苦痛について理解できる。</li> <li>7)臨末期の看護が理解できる。</li> </ol>	●	●	●		●		●		●	
7205201	53S04-3074FR-00	成人看護技術	必修	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.慢性期疾患患者の看護過程と健康管理に必要な看護技術、生活指導について習得する。</li> <li>2.急性期疾患患者の看護過程と健康管理に必要な看護技術、生活指導について習得する。</li> </ol>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7205301	53P04-3075IR-00	高齢者看護学実習Ⅰ	必修	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.高齢者の社会的背景を理解し、精神的な苦痛を軽減できるコミュニケーションを実践できる。</li> <li>2.高齢者の健康状態と予測される健康問題を把握し、個別的な日常生活援助ができる。</li> <li>3.高齢者とその家族への看護介入の実際をを学修することができる。</li> <li>4.施設で生活する高齢者や通所リハビリテーションを活用している高齢者への看護支援を理解できる。</li> <li>5.高齢者を取り巻く包括ケアシステムや社会資源の活用について学修できる。</li> <li>6.高齢者への倫理的配慮や個人情報の厳守し、個人の尊厳について学修できる。</li> <li>7.高齢者のリスクマネジメントについて学修できる。</li> <li>8.高齢者を支える多職種との看護職の連携やその実際について学修できる。</li> <li>9.高齢者のセルフケア能力を活かした看護介入をし、充実した余暇生活への援助を実践できる。</li> </ol>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学習目標	DP1-①	DP1-②	DP2-①	DP3-①	DP3-②	DP3-③	DP4-①	DP4-②	DP4-③
7205401	53P04-3076IR-00	高齢者看護学実習Ⅱ	必修	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 疾患をもつ高齢者の経過別・疾患別健康段階を理解できる。</li> <li>2. 高齢者の自尊心を尊重する姿勢を持ち、コミュニケーションを図ることができる。</li> <li>3. 高齢者の健康障害やそのリスク、セルフケア能力についてアセスメントできる。</li> <li>4. 病院及び施設で生活する高齢者の看護上の問題および生活上の課題や強みを生かした支援について明確にできる。</li> <li>5. 受け持ち高齢者患者のQOLを考慮した看護過程を展開できる。</li> <li>6. 高齢者とその家族に実施されている医療機関でのアプローチを理解し、退院支援を見据えたその人らしい生活支援や社会資源の実際を学修できる。</li> <li>7. 保健・医療・福祉における看護の役割と多職種連携・協働の重要性を理解し、チームメンバーとしての態度を養うことができる。</li> <li>8. 実習を通して高齢者観を深めることができる。</li> <li>9. 看護実践を通して高齢者看護における倫理的配慮を考察することができる。</li> </ol>	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7205601	53S04-1077FR-00	看護技術Ⅰ（共通基本技術）	必修	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. コミュニケーション技術、感染防止の技術、活動と休息に関する技術、環境調整技術の技術を実践するために必要な知識と方法を説明することができる。</li> <li>2. 科学的根拠に基づいて共通基本技術を実施できる。</li> <li>3. 看護技術の受け手である人々をさまざま側面（身体的・心理的・社会的状況）から理解することの重要性が表現できる。</li> <li>4. 看護者としてふさわしい態度について思考し、実践できる。</li> </ol>	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7205602	53S04-1077FR-01	看護技術Ⅰ（共通基本技術）	必修	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. コミュニケーション技術、感染防止の技術、活動と休息に関する技術、環境調整技術の技術を実践するために必要な知識と方法を説明することができる。</li> <li>2. 科学的根拠に基づいて共通基本技術を実施できる。</li> <li>3. 看護技術の受け手である人々をさまざま側面（身体的・心理的・社会的状況）から理解することの重要性が表現できる。</li> <li>4. 看護者としてふさわしい態度について思考し、実践できる。</li> </ol>	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7300201	53L04-3078FR-00	災害看護論	必修	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 災害看護の概要と災害時の看護の役割を理解できる</li> <li>2. 災害に備えた実践的な対応について理解できる</li> <li>3. 地域と密着した災害発生時の対応について理解できる</li> <li>4. 国内・外における救急医療制度の仕組みとバイ・スタンダー（そばに居合わせた人）としての初期対応、連携の重要性が理解できる。</li> <li>5. BLS(Basic Life Support):一次救命処置の具体的な手順が説明でき、実技が行える。</li> <li>6. 災害時のトリアージ及び被災者の傷病に応じた安全な移動・搬送が行える。</li> </ol>	●	●	●	●	●	●	●	●	●

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学習目標	DP1-①	DP1-②	DP2-①	DP3-①	DP3-②	DP3-③	DP4-①	DP4-②	DP4-③
7300302	53L04-3079FR-00	医療安全支援論	必修	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護における医療安全の意義と重要性について説明できる。</li> <li>2. 事故発生のメカニズムとリスクマネジメントについて説明できる。</li> <li>3. チーム医療と医療安全について説明できる。</li> <li>4. 看護に関連する事故と安全対策について説明できる。</li> <li>5. 医療従事者の安全を脅かすリスクと対策について説明できる。</li> <li>6. チーム医療の一員として患者の安全を守るための看護学生の役割について説明できる。</li> </ol>		●	●	●	●		●		
7300401	53L04-4080SR-00	国際看護論	選択	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) グローバルヘルスの現状と課題を理解する</li> <li>2) 世界の健康課題と継続可能な開発目標 (SDGs) から看護の役割を考える</li> <li>3) 在日外国人が抱える健康課題とその背景を理解して、健康支援策の実施方法を考える</li> <li>4) 国際協力のしくみと国際看護活動の現状を理解する</li> </ol>	●	●	●		●			●	
7300701	53L04-3081FR-00	看護倫理学	必修	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 倫理とは何か、看護職者が倫理を学ぶ重要性と必要性について説明できる。</li> <li>2) 医療・看護における倫理の歴史的背景を知り、倫理に関する概念や用語、倫理原則や代表的な規定・綱領などについて説明できる。</li> <li>3) 医療・看護の実践の場における倫理的問題やジレンマを挙げるができる。</li> <li>4) 倫理的問題について、倫理規定や倫理原則、理論、モデルなどを用いて情報を整理し、考えることができる。</li> <li>5) 身近に起こる倫理に関することに興味を持つことができる。</li> </ol>							●		
7300801	53L04-4082FR-00	看護管理学	選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護管理に必要な知識と技術を学習することができる。</li> <li>・看護管理者の役割について具体例を通じて学習することができる。</li> <li>・看護管理の諸理論を学び、組織の中の一員として自らが果たすべき役割について考察することができる。</li> <li>・病院における継続教育システムについて学び、自己のキャリア開発について考察することができる。</li> </ul>	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7301001	53L04-3083FR-00	看護研究概論	必修	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究とは何か、なぜ研究を学ぶのか理解できる。</li> <li>2. 「研究疑問(リサーチエスチョン)とは何か」を考え、テーマを絞り込むプロセスを理解できる。</li> <li>3. 看護研究における文献の意義と重要性を理解し、データベースを活用し、文献検索ができる。</li> <li>4. 研究計画書の必要性とその概要を学ぶ。</li> <li>5. 研究論文をクリティークすることができる。</li> <li>6. 看護研究における倫理について理解できる。</li> <li>7. 看護領域における具体的な研究方法を理解できる (質的研究、量的研究、事例研究、文献研究等)</li> </ol>	●	●	●		●			●	●

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学習目標	DP1-①	DP1-②	DP2-①	DP3-①	DP3-②	DP3-③	DP4-①	DP4-②	DP4-③
7301002	53L04-3083FR-01	看護研究概論	必修	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究とは何か、なぜ研究を学ぶのか理解できる。</li> <li>2. 「研究疑問(リサーチクエスション)とは何か」を考え、テーマを絞り込むプロセスを理解できる。</li> <li>3. 看護研究における文献の意義と重要性を理解し、データベースを活用し、文献検索ができる。</li> <li>4. 研究計画書の必要性とその概要を学ぶ。</li> <li>5. 研究論文をクリティークすることができる。</li> <li>6. 看護研究における倫理について理解できる。</li> <li>7. 看護領域における具体的な研究方法を理解できる(質的研究、量的研究、事例研究、文献研究等)</li> </ol>	●	●	●		●			●	●
7301101	53S04-3084YR-00	看護研究(課題研究)	必修	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護学実習(領域別実習)での体験をもとに研究疑問(リサーチクエスション)を明らかにすることができる。</li> <li>2. データベースを活用し、研究疑問に関連する文献検索ができる。</li> <li>3. 研究課題に合った研究方法を決定することができる。</li> <li>4. 研究計画書を立案できる。</li> <li>5. 論文の基本的な構成を学び、論文の作成方法について理解できる。</li> <li>6. 提示された論文構成に則り、論文を作成することができる。</li> <li>7. 4年次前期までに学んだ知識を活用、応用することにより基礎的能力を養うことができる。</li> </ol>			●	●	●		●		●
7301102	53S04-3084FR-01	看護研究(課題研究)	必修	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護学実習(領域別実習)での体験をもとに研究疑問(リサーチクエスション)を明らかにすることができる。</li> <li>2. データベースを活用し、研究疑問に関連する文献検索ができる。</li> <li>3. 研究課題に合った研究方法を決定することができる。</li> <li>4. 研究計画書を立案できる。</li> <li>5. 論文の基本的な構成を学び、論文の作成方法について理解できる。</li> <li>6. 提示された論文構成に則り、論文を作成することができる。</li> </ol>	●	●	●	●		●		●	
7301201	53P04-4085IR-00	統合実習	必修	<ol style="list-style-type: none"> <li>I. 病院組織における看護部の役割、病棟看護師長やリーダー(コーディネーター)の役割を学び、看護管理の実際を理解する。</li> <li>II. 複数の患者に対する看護実践のシャドウイング・一部実施を通して、多重課題時のケアの優先順位や時間配分の判断・工夫について学ぶ。</li> <li>III. 夜間帯の看護について理解する。</li> <li>IV. 医療チームの一員として役割と責任を自覚し、様々な医療チームにおける連携の実際を理解する。</li> <li>V. 専門職業人になる者として問題解決型の学習や倫理的行動に努め、自己の看護観を深めて課題を見出す。</li> </ol>	●	●	●	●	●	●	●	●	●

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学習目標	DP1-①	DP1-②	DP2-①	DP3-①	DP3-②	DP3-③	DP4-①	DP4-②	DP4-③	
7301601	53S01-2086SE-00	看護と芸術Ⅰ（造形の感性と創造）	選択	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 作品制作を通して、感性と創造力を養うことができる。</li> <li>2. 楽しみながら制作することで、心が癒されることを実感できる。</li> <li>3. 鑑賞を通して「みる力」「きく力」を養うことができる。</li> <li>4. アートを通じたコミュニケーションを体感することができる。</li> <li>5. 医療現場におけるホスピタルアートについて理解できる。</li> <li>6. 高齢者・児に対する芸術技法について体験し実感できる。</li> <li>7. 人間の「視」「聴」「嗅」「触」「味」の五感覚を通して脳を刺激し、癒しをもたらす芸術について、実際の看護に活用できる方向性を考察できる。</li> </ol>							●			
7301603	53S01-2086SE-01	看護と芸術Ⅰ（造形の感性と創造）	必修	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 作品制作を通して、感性と創造力を養うことができる。</li> <li>2. 楽しみながら制作することで、心が癒されることを実感できる。</li> <li>3. 鑑賞を通して「みる力」「きく力」を養うことができる。</li> <li>4. アートを通じたコミュニケーションを体感することができる。</li> <li>5. 医療現場におけるホスピタルアートについて理解できる。</li> <li>6. 高齢者・児に対する芸術技法について体験し実感できる。</li> <li>7. 人間の「視」「聴」「嗅」「触」「味」の五感覚を通して脳を刺激し、癒しをもたらす芸術について、実際の看護に活用できる方向性を考察できる。</li> </ol>							●			
7301604	53S01-2086SE-02	看護と芸術Ⅰ（造形の感性と創造）	選択	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 作品制作を通して、感性と創造力を養うことができる。</li> <li>2. 楽しみながら制作することで、心が癒されることを実感できる。</li> <li>3. 鑑賞を通して「みる力」「きく力」を養うことができる。</li> <li>4. アートを通じたコミュニケーションを体感することができる。</li> <li>5. 医療現場におけるホスピタルアートについて理解できる。</li> <li>6. 高齢者・児に対する芸術技法について体験し実感できる。</li> <li>7. 人間の「視」「聴」「嗅」「触」「味」の五感覚を通して脳を刺激し、癒しをもたらす芸術について、実際の看護に活用できる方向性を考察できる。</li> </ol>							●			
7301701	53S01-2087SE-00	看護と芸術Ⅱ（書の感性と創造）	選択	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護と書のコンセプトにより自己の内面を磨く。</li> <li>2. 繰り返す作業から集中力を培い自己の成長へと高める。</li> <li>3. 多くの書体から看護の視点で読み解く感性を磨く。</li> <li>4. 自身の表現ツールとしての書を導き出すこと。</li> <li>5. 看護の対象に合わせた書を通じて看護アートを創造する。</li> </ol>								●		
7301702	53S01-2087SE-01	看護と芸術Ⅱ（書の感性と創造）	選択	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 絵の楽しさと書の緊張感を通して、豊かな想像力を育むことができる。</li> <li>2) 仕上がりが無数にある事に重きを置くので、独創性が磨かれる。</li> <li>3) 伝統的な道具を使い、にじみを生かした淡い絵の技術、それに馴染む書の技術を習得する。</li> <li>4) 自分や誰かの心と向き合い、伝えていく力を向上させる。</li> <li>5) 日本の季節に触れ、心を整え豊かな感性を広げることができる。</li> <li>6) 芸術による社会貢献や商業的な事例を、知見として学ぶことができる。</li> </ol>								●		

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学習目標	DP1-①	DP1-②	DP2-①	DP3-①	DP3-②	DP3-③	DP4-①	DP4-②	DP4-③
7301703	53S01-2087SE-02	看護と芸術Ⅱ（書の感性と創造）		1) 絵の楽しさと書の緊張感を通して、豊かな想像力を育むことができる。 2) 仕上がりが無数にある事に重きを置くので、独創性が磨かれる。 3) 伝統的な道具を使い、にじみを生かした淡い絵の技術、それに馴染む書の技術を習得する。 4) 自分や誰かの心と向き合い、伝えていく力を向上させる。 5) 日本の季節に触れ、心を整え豊かな感性を広げることができる。 6) 芸術による社会貢献や商業的な事例を、知見として学ぶことができる。							●		
7301704	53S01-2087SE-03	看護と芸術Ⅱ（書の感性と創造）	必修	1. 看護と書のコネクトにより自己の内面を磨く。 2. 繰り返す作業から集中力を培い自己の成長へと高める。 3. 多くの書体から看護の視点で読み解く感性を磨く。 4. 自身の表現ツールとしての書を導き出すこと。 5. 看護の対象に合わせた書を通じて看護アートを創造する。							●		
7303014	50L07-1056SO-00	特別支援教育概論	自由	障害の概念、特別支援教育の概念について、特別支援教育が対象とする幼児、児童、生徒の教育の理念や制度についての基本的な理解を深める。またその上で、特別支援教育を必要とする幼児、児童、生徒の学習上、生活上の困難について制度的、教育実践論的アプローチの仕方を理解する。	●	●							

2024年度

## カリキュラムマップ 健康科学部 学科共通科目

健康科学部 ディプロマポリシー

【健康科学部DP1 知識・理解】① 豊かな感性を持ち、相手の立場に立った思いやりを備え、他の人たちと相互に支え合うことができる。
【健康科学部DP1 知識・理解】② 他者を尊重することができ、異なる文化、価値観の多様性を受け入れることができる。
【健康科学部DP2 思考・判断】① 健康を回復する手助けとして、健康レベルに応じて必要な知識・技術を用い、的確な医療の実践ができ、医療専門職として社会で貢献できる。
【健康科学部DP3 技能・表現】① 医療職としての知識や技術の向上を目指し、研鑽を続けることができる。
【健康科学部DP3 技能・表現】② 質の高い医療の実践のため、他の専門職との連携に配慮し、チーム医療の一員として力を発揮できる。
【健康科学部DP4 関心・意欲・態度】① 地域の医療の諸課題とその背景を理解し、地域医療に貢献することができる。

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学習目標	DP1-①	DP1-②	DP2-①	DP3-①	DP3-②	DP4-①
0000801	50L01-1001FR-00	心理学〔理・整〕	必修	<ul style="list-style-type: none"> <li>心理学が日常社会の様々な領域に関わる学問であることを知る。</li> <li>心の発達を説明する様々な考え方を見ていくことで、自己理解を深める。</li> <li>心のメカニズムや人格のような人の内面と、他者や社会との関係のような外面という両面に着目して、「その人らしさ」が形成される仕組みを理解する。</li> <li>人間関係を心理学的視点から知ること、自身の対人関係を客観的に見ることにつなげる。</li> <li>心の健康について知ること、それらを現在の自分自身に生かすとともに、将来職業人としての活動にも役立てられるようにする。</li> <li>自分の専攻と心理学との関係を考えてみる。例えば、治療や指導への応用などを考えながら学んで欲しい。</li> </ul>			●		●	
0000802	50L01-1001FR-01	心理学〔看〕	必修	<ul style="list-style-type: none"> <li>心理学が日常社会の様々な領域に関わる学問であることを知る。</li> <li>心の発達を説明する様々な考え方を見ていくことで、自己理解を深める。</li> <li>心のメカニズムや人格のような人の内面と、他者や社会との関係のような外面という両面に着目して、「その人らしさ」が形成される仕組みを理解する。</li> <li>人間関係を心理学的視点から知ること、自身の対人関係を客観的に見ることにつなげる。</li> <li>心の健康について知ること、それらを現在の自分自身に生かすとともに、将来職業人としての活動にも役立てられるようにする。</li> <li>自分の専攻と心理学との関係を考えてみる。例えば、治療や指導への応用などを考えながら学んで欲しい。</li> </ul>			●		●	



講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学習目標	DP1-①	DP1-②	DP2-①	DP3-①	DP3-②	DP4-①
0002101	50L01-1002FE-00	現代生物学〔看〕	選択	1) 細胞の構造と機能について知る 2) 生体を構成する物質と生化学的環境条件（pHと物質の状態変化など）について知る 3) 栄養素の代謝について知る 4) 遺伝とDNAの性質に基づく遺伝情報の発現メカニズムについて理解する 5) 生殖と発生・分化のしくみについて知る 6) ヒトを始めとする動物の組織と器官について知る 7) ホルモンと生体調節のしくみを理解する 8) 神経系とその役割について知る 9) 免疫の基本知識を得る 10) 微生物と感染症について知る 11) 生命システムの破綻によって起こる癌と老化のしくみについて知る			●	●		
0002102	50L01-1002SE-01	現代生物学〔理・整〕	選択	1) 細胞の構造と機能について知る 2) 生体を構成する物質と生化学的環境条件（pHと物質の状態変化など）について知る 3) 栄養素の代謝について知る 4) 細胞の増殖と死のメカニズムについて理解する 5) 生殖と発生・分化のしくみについて知る 6) ヒトを始めとする動物の組織と器官について知る 7) ホルモンと生体調節のしくみを理解する 8) 神経系とその役割について知る 9) 免疫の基本知識を得る 10) 微生物と感染症について知る 11) 生命システムの破綻によって起こる癌と老化のしくみについて知る			●	●		
0002201	50L01-1003SE-00	現代物理学〔後期〕	選択	1) 物体の運動状態を記述するための基本的な物理量（速さ、速度、加速度）の意味が理解できる。 2) 等加速度運動の意味が理解できる。 3) 慣性の物理的な意味が理解できる。 4) 力、質量、加速度の関係が理解できる。 5) 作用と反作用の関係が理解できる。 6) 力の合成・分解の考え方が理解できる。 7) 力のモーメントを、力が物体を回転させる能力を表す量として捉えられる。 8) 重心の物理的な意味と性質が理解できる 9) 仕事とエネルギーの関係、重力ポテンシャルエネルギー、運動エネルギーの意味が理解できる。				●		

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学習目標	DP1-①	DP1-②	DP2-①	DP3-①	DP3-②	DP4-①
0002202	50L01-1003FE-01	現代物理学〔前期〕	選択	1) 物体の運動状態を記述するための基本的な物理量（速さ、速度、加速度）の意味が理解できる。 2) 等加速度運動の意味が理解できる。 3) 慣性の物理的な意味が理解できる。 4) 力、質量、加速度の関係が理解できる。 5) 作用と反作用の関係が理解できる。 6) 力の合成・分解の考え方が理解できる。 7) 力のモーメントを、力が物体を回転させる能力を表す量として捉えられる。 8) 重心の物理的な意味と性質が理解できる 9) 仕事とエネルギーの関係、重力ポテンシャルエネルギー、運動エネルギーの意味が理解できる。				●		
0002601	50L01-1004SE-00	国際関係論	選択	国際関係（国際社会）の様々な分野の基本的枠組みが理解出来るよう、ごく身近な例や日常見聞する出来事などを取り上げ、そこから問題の本質と背景を明らかにするというアプローチを取り、学生が（1）グローバルな国際社会に生きていることを強く自覚し、（2）異文化への理解を深め、（3）自分の生き方や国際社会における日本のあり方に関心を深めるようにする。 より具体的には、外国（人）との交流に役立つ基礎知識を身につけること、また、テレビ、新聞などのメディアの国際関係の報道や解説が概ね理解出来る程度の知識を持つことを目標とする。	●	●			●	
0002701	50P01-1005FR-00	スポーツ理論と実習Ⅰ〔理〕	必修	1) 各種スポーツ（サッカー、バスケットボール、テニス、バドミントン、フライングディスク）の基礎的技術を獲得する 2) 各種スポーツのルールを理解して、ゲームを実施できる 3) チームスポーツを通して、パートナーまたはチームメイトと円滑なコミュニケーションがとれる 4) 運動を行うことの楽しさを知り、生涯にわたって日常生活の一部として運動を取り入れることができる	●	●				

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学習目標	DP1-①	DP1-②	DP2-①	DP3-①	DP3-②	DP4-①
0002702	50P01-1005FR-01	スポーツ理論と実習Ⅰ〔整〕	必修	①基礎体力の向上を即し、健康な学生生活を送ることができる ②「受身」の習得により、日常のアクシデント等からの予防ができる ③技の習得を通して、自分の力及び相手の力を合理的に利用する方法を学び、力の活用を理解・実践できる ④練習を通してバランスの重要性を理解し、その実践ができる ⑤柔道に内在する「精力善用」、「自他共栄」の精神を理解し、心身の力の最有効活用、及び自己の尊厳、他者(相手)への感謝の気持ちの重要性を学び、日常生活で実践できる ⑥世界での柔道の普及度、また日本文化としての柔道を理解し、その知識を国際交流等に活用できる ⑦運動を行うことの楽しさを知り、生涯にわたって日常生活の一部として運動を取り入れることができる(ウォーキング、ジョギング、エアロビックダンス)	●	●				
0002703	50P01-1005FR-02	スポーツ理論と実習Ⅰ〔看〕	選択	1) 凶スポーツの本質的な意味や、遊び、体育、オリンピックとの関係について、特に歴史的背景や社会情勢との関連を理解できる 2) 健康・からだ作りのためのエクササイズの実技を通して、トレーニングの基礎理論を理解し、その方法を習得できる 3) 運動・スポーツの意義およびエクササイズの楽しさを知り、生涯にわたって日常生活の一部として運動を取り入れることができる	●	●				
0002801	50P01-1006SR-00	スポーツ理論と実習Ⅱ〔理〕	選択	1) 各種スポーツ(サッカー、バスケットボール、テニス、バドミントン、卓球、フライングディスク)の基礎的技術を獲得する 2) 各種スポーツのルールを理解して、ゲームを実施できる 3) チームスポーツを通して、パートナーまたはチームメイトと円滑なコミュニケーションがとれる 4) 自身の体力レベルを全国平均と比較して、自身の体力の課題を知る。 5) 運動を行うことの楽しさを知り、生涯にわたって日常生活の一部として運動を取り入れることができる	●	●				
0002802	50P01-1006SR-01	スポーツ理論と実習Ⅱ〔整〕	必修	①基礎体力の向上を即し、健康な学生生活を送ることができる ②「受身」の習得により、日常のアクシデント等からの予防ができる ③技の習得を通して、自分の力及び相手の力を合理的に利用する方法を学び、力の活用を理解・実践できる ④練習を通してバランスの重要性を理解し、その実践ができる ⑤柔道に内在する「精力善用」「自他共栄」の精神を理解し、心身の力の最有効活用、及び自己の尊厳、他者(相手)への感謝の気持ちの重要性を学び、日常生活で実践できる ⑥世界での柔道の普及度、また日本文化としての柔道を理解し、その知識を国際交流等に活用できる ⑦運動を行うことの楽しさを知り、生涯にわたって日常生活の一部として運動を取り入れることができる(レジスタンス運動)	●	●				

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学習目標	DP1-①	DP1-②	DP2-①	DP3-①	DP3-②	DP4-①
0002803	50P01-1006SR-02	スポーツ理論と実習Ⅱ〔看〕	選択	1) 凶スポーツに関連する社会的問題に関連する内容について理解し、議論できる 2) 各種スポーツの基礎的技術を獲得、ルールを理解することで、ゲームを実施できる 3) 田・ムスポーツを通して、パートナーまたはチームメイトと円滑なコミュニケーションがとれる 4) 旧レーニングの基礎理論を理解し、その方法を習得する。 5) 運動を行うことの楽しさを知り、生涯にわたって日常生活の一部として運動を取り入れることができるようになる。	●	●				
0003101	50L01-1007SE-00	日本国憲法	選択	日本国憲法を理解し、自身の人生や生活の一助となるような価値観と理解を求めていく。 就職先や家庭や地域における集団活動の中で活かせる知識や理論を培っていく。	●	●				●
0003301	50L01-1008FE-00	文化人類学〔理〕	選択	「人類学」・「社会学」に限らず全ての人文科学・社会科学領域の subjectおよびobjectは人間です。文化人類学は、文化の研究が目的なのではなくて、それはあくまで手段であり、目的は人間の理解であり、どのように生き生きとした人間像を描くことができるかという認識を志向してきました。そして大事なことは、あなたがた若い学生が、未来によりよい社会・文化を担い、創っていく主体となるという自覚をもつことです。 ① 他者や異文化に触れることで、自己を捉え返し、世界を問い直すという思考力の醸成、感性の涵養ができるようになります。 ② グローバル・ボーダレス・ダイバーシティ等「文化多様性」尊重の認識に立脚した国際的な視野を培うことができます。	●	●				
0003302	50L01-1008FE-01	文化人類学〔整・看〕	選択	「人類学」・「社会学」に限らず全ての人文科学・社会科学領域の subjectおよびobjectは人間です。文化人類学は、文化の研究が目的なのではなくて、それはあくまで手段であり、目的は人間の理解であり、どのように生き生きとした人間像を描くことができるかという認識を志向してきました。そして大事なことは、あなたがた若い学生が、未来によりよい社会・文化を担い、創っていく主体となるという自覚をもつことです。 ① 他者や異文化に触れることで、自己を捉え返し、世界を問い直すという思考力の醸成、感性の涵養ができるようになります。 ② グローバル・ボーダレス・ダイバーシティ等「文化多様性」尊重の認識に立脚した国際的な視野を養うことができます。	●	●				
0003701	50L01-1009SE-00	日本倫理思想〔理・整〕	選択	① 医療・介護の現場における患者・利用者の心情を、倫理から考えることができる。 ② 日本の伝統的な倫理観の特徴を、歴史事象から説明できる。 ③ 「生者必滅」という理と、「無念」という概念を、患者の立場から説明できる。	●	●				●

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学習目標	DP1-①	DP1-②	DP2-①	DP3-①	DP3-②	DP4-①
0003702	50L01-1009SE-01	日本倫理思想〔看〕	選択	①医療・介護の現場における患者・利用者の心情を、倫理から考えることができる。 ②日本の伝統的な倫理観の特徴を、歴史事象から説明できる。 ③「生者必滅」という理と、「無念」という概念を、患者の立場から説明できる。	●	●				●
0003901	50L01-1010FR-00	武道文化論	必修	①武道の持つ真の意味を理解する ②武術から武道に変わる時代背景と時代の思想を知る ③武道の精神の根源である武士の心得や哲学を、宮本武蔵の「五輪書」、新渡戸稲造の「武士道」などを通して理解する ④武術の近代化を積極的に推し進めたアジア人初のIOC委員であり、柔道の創始者である嘉納治五郎の思想を学ぶ ⑤武道の国際的普及の過程を把握すると共に、その要因を理解する ⑥日本の伝統文化とは何か。日本人とは何かを探り、グローバル化、情報化社会に生きる自身の在り方を考える ⑦なぜ今、武道が現在の日本に必要とされているか。その本質を理解する	●	●				
0004001	50S01-1011SE-00	思索と哲学演習	選択	1.社会や身近で起こっている問題について「なぜ？どうしたらよい？」と考えることができる。 また、その考察を通して、 2.哲学の領域で問題になってきたトピックについて理解できる。 3.自分とは異なる考えを適切な姿勢で検討できるように、これまで「自明」「当然」だと思っていたことがそうとは限らないこと学び、いろいろな視点から考え、それを文章で適切に表現できる。	●	●				
0004003	50S01-1011SE-01	思索と哲学演習	選択	1.社会や身近で起こっている問題について「なぜ？どうしたらよい？」と考えることができる。 また、その考察を通して、 2.哲学の領域で問題になってきたトピックについて理解できる。 3.自分とは異なる考えを適切な姿勢で検討できるように、これまで「自明」「当然」だと思っていたことがそうとは限らないこと学び、いろいろな視点から考え、それを文章で適切に表現できる。	●	●				
0004101	50L01-1012SE-00	国語表現法	看：必修/ 理・整：選 択	◆日本語史の概要を把握する。 ◆レポートや小論文を書く際に必要な、資料を読解する力を身につける。 ◆大学のレポートや論文などで求められる、論理的・客観的な文章を書くためのスキルを身につける。	●	●				
0004201	50L01-1013SE-00	世界の歴史と文化	選択	①それぞれの時代の多様な文化を概観することで、歴史への興味・関心を高める。 ②世界の歴史の大きな流れを理解することができる。 ③テーマに沿って歴史上に登場する「モノ」に注目したり、古今東西の文化を調べたりして、異文化への理解を深め、国際社会で活躍できる価値観や多様性を身に付ける。	●	●				

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学習目標	DP1-①	DP1-②	DP2-①	DP3-①	DP3-②	DP4-①
0004302	50L01-1014FE-00	現代社会学	選択	最初に「社会学」とは何か。その基本的な知識と考え方を身に付けること。その後は、具体的なテーマについて解説し、それに基づいて自分の考えをまとめる作業を行います。毎回、当初1時間は講義。20分程度の簡単なレポート作成を行い、最終的には、社会的な考え方を身に付け、自分を取り巻く社会の将来像を自分なりに描いていくことを目標としています。	●	●				
0004401	50L01-1015FE-00	現代経済学	選択	新聞やニュースで報道される様々な経済用語について理解するとともに、それぞれの経済活動がそのメカニズムを通じて私たちの生活にどのような影響を与えるのか考えるなど、経済についての論理的思考能力を身に付けることを目標とします。	●					
0004501	50L01-1016SE-00	統計学〔理・整〕	選択	1) 平均値、中央値、標準偏差などの基本的な統計量の意味が理解できる。 2) 確率変数と確率分布の意味が理解できる。 3) 区間推定の考え方を理解し、平均・分散の区間推定を行うことができる。 4) 仮説検定のロジックを理解し、平均・分散の検定を行うことができる。 5) 2変数の相関および相関係数の意味が理解できる。 6) 回帰直線の意味が理解できる。				●		
0004502	50L01-1016SE-01	統計学〔看〕	必修	1) 数量データとカテゴリーデータの違いについて理解できる 2) 平均値・中央値・標準偏差などの基本的な統計量の意味が理解できる 3) 統計的推定の考え方を理解し、母平均・母比率の推定を行うことができる 4) 統計的検定の考え方を理解し、平均・割合の検定を行うことができる 5) 相関分析の考え方を理解し、相関係数を算出することができる 6) 相関に関する検定の考え方を理解し、検定を行うことができる				●		
0004601	50S01-1017FR-00	情報処理演習 I (ICTを含む) 〔理A〕	必修	1) オペレーティングシステムの基本操作ができる。 2) ワードプロソフト (Microsoft Word 2016) を使用して文書を作成し編集できる。 3) 電子メールの送受信、インターネットによる情報検索ができる。 4) 表計算ソフト (Microsoft Excel 2016) を用いて、簡単な表計算とデータのグラフ化ができる。 5) プレゼンテーションスライド作成ソフト (Microsoft PowerPoint 2016) が使用できる。 6) 基本的なHTML言語を理解して、ホームページの成り立ちが理解できる。 7) 様々なソフトで作成したファイルを管理できる。				●		

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学習目標	DP1-①	DP1-②	DP2-①	DP3-①	DP3-②	DP4-①
0004602	50S01-1017FR-01	情報処理演習 I (ICTを含む) 〔理 B〕	必修	1) オペレーティングシステムの基本操作ができる。 2) ワードソフト (Microsoft Word 2016) を使用して文書を作成し編集できる。 3) 電子メールの送受信、インターネットによる情報検索ができる。 4) 表計算ソフト (Microsoft Excel 2016) を用いて、簡単な表計算とデータのグラフ化ができる。 5) プレゼンテーションスライド作成ソフト (Microsoft PowerPoint 2016) が使用できる。 6) 基本的なHTML言語を理解して、ホームページの成り立ちが理解できる。 7) 様々なソフトで作成したファイルを管理できる。				●		
0004603	50S01-1017FR-02	情報処理演習 I (ICTを含む) 〔整 A〕	必修	1) オペレーティングシステムの基本操作ができる。 2) ワードソフト (Microsoft Word 2016) を使用して文書を作成し編集できる。 3) 電子メールの送受信、インターネットによる情報検索ができる。 4) 表計算ソフト (Microsoft Excel 2016) を用いて、簡単な表計算とデータのグラフ化ができる。 5) プレゼンテーションスライド作成ソフト (Microsoft PowerPoint 2016) が使用できる。 6) 基本的なHTML言語を理解して、ホームページの成り立ちが理解できる。 7) 様々なソフトで作成したファイルを管理できる。				●		
0004604	50S01-1017FR-03	情報処理演習 I (ICTを含む) 〔整 B〕	必修	1) オペレーティングシステムの基本操作ができる。 2) ワードソフト (Microsoft Word 2016) を使用して文書を作成し編集できる。 3) 電子メールの送受信、インターネットによる情報検索ができる。 4) 表計算ソフト (Microsoft Excel 2016) を用いて、簡単な表計算とデータのグラフ化ができる。 5) プレゼンテーションスライド作成ソフト (Microsoft PowerPoint 2016) が使用できる。 6) 基本的なHTML言語を理解して、ホームページの成り立ちが理解できる。 7) 様々なソフトで作成したファイルを管理できる。				●		
0004605	50S01-1017FR-04	情報処理演習 I (ICTを含む) 〔看 A〕	必修	1) オペレーティングシステムの基本操作ができる。 2) ワードソフト (Microsoft Word 2016) を使用して文書を作成し編集できる。 3) 電子メールの送受信、インターネットによる情報検索ができる。 4) 表計算ソフト (Microsoft Excel 2016) を用いて、簡単な表計算とデータのグラフ化ができる。 5) プレゼンテーションスライド作成ソフト (Microsoft PowerPoint 2016) が使用できる。 6) 基本的なHTML言語を理解して、ホームページの成り立ちが理解できる。 7) 様々なソフトで作成したファイルを管理できる。				●		

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学習目標	DP1-①	DP1-②	DP2-①	DP3-①	DP3-②	DP4-①
0004606	50S01-1017FR-05	情報処理演習Ⅰ (ICTを含む) 〔看B〕	必修	1) オペレーティングシステムの基本操作ができる。 2) ワードプロソフト (Microsoft Word 2016) を使用して文書を作成し編集できる。 3) 電子メールの送受信、インターネットによる情報検索ができる。 4) 表計算ソフト (Microsoft Excel 2016) を用いて、簡単な表計算とデータのグラフ化ができる。 5) プレゼンテーションスライド作成ソフト (Microsoft PowerPoint 2016) が使用できる。 6) 基本的なHTML言語を理解して、ホームページの成り立ちが理解できる。 7) 様々なソフトで作成したファイルを管理できる。				●		
0004701	50S01-1018SE-00	情報処理演習Ⅱ〔月4〕	選択	1) Wordによるレポート・論文形式の文書の作成ができる。 2) Excelを用いてデータの管理・グラフ化、初歩的な統計解析ができる。 3) HTML言語を理解して、簡単なホームページが作成できる。				●		
0004703	50S01-1018SE-01	情報処理演習Ⅱ〔月5〕	選択	1) Wordによるレポート・論文形式の文書の作成ができる。 2) Excelを用いてデータの管理・グラフ化、初歩的な統計解析ができる。 3) HTML言語を理解して、簡単なホームページが作成できる。				●		
0004704	50S01-1018SE-02	情報処理演習Ⅱ〔金5〕	選択	1) Wordによるレポート・論文形式の文書の作成ができる。 2) Excelを用いてデータの管理・グラフ化、初歩的な統計解析ができる。 3) HTML言語を理解して、簡単なホームページが作成できる。				●		
0004705	50S01-1018SE-03	情報処理演習Ⅱ〔火5〕	選択	1) Wordによるレポート・論文形式の文書の作成ができる。 2) Excelを用いてデータの管理・グラフ化、初歩的な統計解析ができる。 3) HTML言語を理解して、簡単なホームページが作成できる。				●		
0004706	50S01-1018SE-04	情報処理演習Ⅱ〔火4〕	選択	1) Wordによるレポート・論文形式の文書の作成ができる。 2) Excelを用いてデータの管理・グラフ化、初歩的な統計解析ができる。 3) HTML言語を理解して、簡単なホームページが作成できる。				●		
0004802	50L01-1019FR-00	総合英語Ⅰ〔火1〕	必修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療英語に特有の単語を理解し、使えるようにすること</li> <li>・リスニング力を向上させること</li> <li>・高校までで学んだ基礎的な英文法を理解すること</li> <li>・医療英語に関する文章の内容を正しく理解できるようになること</li> </ul> また、Unit終了時に小テストを行い、理解度の確認をはかる。	●	●			●	



講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学習目標	DP1-①	DP1-②	DP2-①	DP3-①	DP3-②	DP4-①
0004803	50L01-1019FR-01	総合英語 I [火1]	必修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療現場で使用される基本的な語彙や表現を身に付ける。</li> <li>・簡単な会話練習を通して、医療従事者として基本的なコミュニケーションができるように練習する。</li> <li>・比較的わかりやすい医療に関わる英文を読んだり聞き取ったりできるようになる。</li> <li>・英語の基本的な仕組みや文法を理解し、短い英文で基本的な表現ができるようになる。</li> </ul> ※ Unit終了時に小テストを行い、理解度の確認をはかる。		●				
0004804	50L01-1019FR-02	総合英語 I [火2]	必修	医療現場で使える英語を身に付けるということが目標です。その為、必要な語彙は覚えなければいけません。また、実際にコミュニケーションを取る為には相手の言っていることが理解できなければなりません。従って、リスニングにはそれなりの時間を割きます。その時に英語音声のルールも学びます。同時によく使われるフレーズなどを実際に発話してもらいます。		●		●		
0004805	50L01-1019FR-03	総合英語 I [火2]	必修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療現場で使用される基本的な語彙や表現を身に付ける。</li> <li>・簡単な会話練習を通して、医療従事者として基本的なコミュニケーションができるように練習する。</li> <li>・比較的わかりやすい医療に関わる英文を読んだり聞き取ったりできるようになる。</li> <li>・英語の基本的な仕組みや文法を理解し、短い英文で基本的な表現ができるようになる。</li> </ul> ※ Unit終了時に小テストを行い、理解度の確認をはかる。		●				
0004806	50L01-1019FR-04	総合英語 I [火2]	必修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療英語に特有の単語を理解し、使えるようにすること</li> <li>・リスニング力を向上させること</li> <li>・高校までで学んだ基礎的な英文法を理解すること</li> <li>・医療英語に関する文章の内容を正しく理解できるようになること</li> </ul> また、Unit終了時に小テストを行い、理解度の確認をはかる。	●	●			●	
0004807	50L01-1019FR-05	総合英語 I [水1]	必修	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. To familiarize jargons related to the medical field.</li> <li>2. To learn how to incorporate words in actual usage through situations.</li> <li>3. To be able to have a full grasp of the language and application when the situation demands.</li> </ol> 1.医療分野に関連する専門用語を理解する。 2.状況を通して実際の使用法に単語を組み込む方法を学ぶ。 3.状況に応じて、言語とアプリケーションを完全に把握できるようにする。	●	●	●	●	●	●

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学習目標	DP1-①	DP1-②	DP2-①	DP3-①	DP3-②	DP4-①
0004808	50L01-1019FR-06	総合英語 I [水1]	必修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療英語の基礎的な単語の意味を理解することができる。</li> <li>・英語の基礎的な表現を使うことができる</li> <li>・基本的な英文を理解することができる。</li> </ul>	●	●			●	
0004810	50L01-1019FR-08	総合英語 I [水2]	必修	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. To familiarize jargons related to the medical field.</li> <li>2. To learn how to incorporate words in actual usage through situations.</li> <li>3. To be able to have a full grasp of the language and application when the situation demands.</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.医療分野に関連する専門用語を理解する。</li> <li>2.状況を通して実際の使用法に単語を組み込む方法を学ぶ。</li> <li>3.状況に応じて、言語とアプリケーションを完全に把握できるようにする。</li> </ol>	●	●	●	●	●	●
0004811	50L01-1019FR-09	総合英語 I [水2]	必修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療英語の基礎的な単語の意味を理解することができる。</li> <li>・英語の基礎的な表現を使うことができる</li> <li>・基本的な英文を理解することができる。</li> </ul>	●	●			●	
0004813	50L01-1019FR-11	総合英語 I [木2]	必修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療現場で使用される基本的な語彙や表現を身に付ける。</li> <li>・簡単な会話練習を通して、医療従事者として基本的なコミュニケーションができるように練習する。</li> <li>・比較的わかりやすい医療に関わる英文を読んだり聞き取ったりできるようになる。</li> <li>・英語の基本的な仕組みや文法を理解し、短い英文で基本的な表現ができるようになる。</li> </ul> <p>※ Unit終了時に小テストを行い、理解度の確認をはかる。</p>		●				
0004814	50L01-1019FR-12	総合英語 I [木2]	必修	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. To familiarize jargons related to the medical field.</li> <li>2. To learn how to incorporate words in actual usage through situations.</li> <li>3. To be able to have a full grasp of the language and application when the situation demands.</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.医療分野に関連する専門用語を理解する。</li> <li>2.状況を通して実際の使用法に単語を組み込む方法を学ぶ。</li> <li>3.状況に応じて、言語とアプリケーションを完全に把握できるようにする。</li> </ol>	●	●	●	●	●	●

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学習目標	DP1-①	DP1-②	DP2-①	DP3-①	DP3-②	DP4-①
0004815	50L01-1019FR-13	総合英語 I [木2]	必修	医療現場で使える英語を身に付けるということが目標です。その為、必要な語彙は覚えなければいけません。また、実際にコミュニケーションを取る為には相手の言っていることが理解できなければなりません。従って、リスニングにはそれなりの時間を割きます。その時に英語音声のルールも学びます。同時によく使われるフレーズなどを実際に発話してもらいます。		●		●		
0004816	50L01-1019FR-14	総合英語 I [木2]	必修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療英語に特有の単語を理解し、使えるようにすること</li> <li>・リスニング力を向上させること</li> <li>・高校までで学んだ基礎的な英文法を理解すること</li> <li>・医療英語に関する文章の内容を正しく理解できるようになること</li> </ul> また、Unit終了時に小テストを行い、理解度の確認をはかる。	●	●			●	
0004903	50L01-1020SR-01	総合英語 II [水1]	必修	1. To familiarize jargons related to the medical field. 2. To learn how to incorporate words in actual usage through situations. 3. To be able to have a full grasp of the language and application when the situation demands. 1.医療分野に関連する専門用語を理解する。 2.状況を通して実際の使用法に単語を組み込む方法を学ぶ。 3.状況に応じて、言語とアプリケーションを完全に把握できるようにする。	●	●	●	●	●	●
0004904	50L01-1020SR-02	総合英語 II [水1]	必修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療英語の基礎的な単語の意味を理解することができる。</li> <li>・英語の基礎的な表現を使うことができる</li> <li>・基本的な英文を理解することができる。</li> </ul>	●	●			●	
0004906	50L01-1020SR-04	総合英語 II [水2]	必修	1. To familiarize jargons related to the medical field. 2. To learn how to incorporate words in actual usage through situations. 3. To be able to have a full grasp of the language and application when the situation demands. 1.医療分野に関連する専門用語を理解する。 2.状況を通して実際の使用法に単語を組み込む方法を学ぶ。 3.状況に応じて、言語とアプリケーションを完全に把握できるようにする。	●	●	●	●	●	●
0004907	50L01-1020SR-05	総合英語 II [水2]	必修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療英語の基礎的な単語の意味を理解することができる。</li> <li>・英語の基礎的な表現を使うことができる</li> <li>・基本的な英文を理解することができる。</li> </ul>	●	●			●	

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学習目標	DP1-①	DP1-②	DP2-①	DP3-①	DP3-②	DP4-①
0004908	50L01-1020SR-06	総合英語Ⅱ[木2]	必修	1. To familiarize jargons related to the medical field. 2. To learn how to incorporate words in actual usage through situations. 3. To be able to have a full grasp of the language and application when the situation demands. 1.医療分野に関連する専門用語を理解する。 2.状況を通して実際の使用法に単語を組み込む方法を学ぶ。 3.状況に応じて、言語とアプリケーションを完全に把握できるようにする。	●	●	●	●	●	●
0004909	50L01-1020SR-07	総合英語Ⅱ[木2]	必修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療現場で使用される基本的な語彙や表現を身に付ける。</li> <li>・簡単な会話練習を通して、医療従事者として基本的なコミュニケーションができるように練習する。</li> <li>・比較的わかりやすい医療に関わる英文を読んだり聞き取ったりできるようになる。</li> <li>・英語の基本的な仕組みや文法を理解し、短い英文で基本的な表現ができるようになる。</li> </ul> ※ Unit終了時に小テストを行い、理解度の確認をはかる。		●				
0004910	50L01-1020SR-08	総合英語Ⅱ[木2]	必修	医療現場で使える英語を身に付けるということが目標です。その為、必要な語彙は覚えなければいけません。また、実際にコミュニケーションを取る為には相手の言っていることが理解できなければなりません。従って、リスニングにはそれなりの時間を割きます。その時に英語音声のルールも学びます。同時によく使われるフレーズなどを実際に発話してもらいます。		●		●		
0004911	50L01-1020SR-09	総合英語Ⅱ[木2]	必修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療英語に特有の単語を理解し、使えるようにすること</li> <li>・リスニング力を向上させること</li> <li>・高校までで学んだ基礎的な英文法を理解すること</li> <li>・医療英語に関する文章の内容を正しく理解できるようになること</li> <li>・クラスメイトと協力して課題を解決する力をつけること</li> </ul> また、Unit終了時に小テストを行い、理解度の確認をはかる。	●	●			●	
0004912	50L01-1020SR-10	総合英語Ⅱ[火1]	必修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療英語に特有の単語を理解し、使えるようにすること</li> <li>・リスニング力を向上させること</li> <li>・高校までで学んだ基礎的な英文法を理解すること</li> <li>・医療英語に関する文章の内容を正しく理解できるようになること</li> <li>・クラスメイトと協力して課題を解決する力をつけること</li> </ul> また、Unit終了時に小テストを行い、理解度の確認をはかる。	●	●			●	

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学習目標	DP1-①	DP1-②	DP2-①	DP3-①	DP3-②	DP4-①
0004913	50L01-1020SR-11	総合英語Ⅱ [火1]	必修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療現場で使用される基本的な語彙や表現を身に付ける。</li> <li>・簡単な会話練習を通して、医療従事者として基本的なコミュニケーションができるように練習する。</li> <li>・比較的わかりやすい医療に関わる英文を読んだり聞き取ったりできるようになる。</li> <li>・英語の基本的な仕組みや文法を理解し、短い英文で基本的な表現ができるようになる。</li> </ul> ※ Unit終了時に小テストを行い、理解度の確認をはかる。		●				
0004914	50L01-1020SR-12	総合英語Ⅱ [火2]	必修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療現場で使用される基本的な語彙や表現を身に付ける。</li> <li>・簡単な会話練習を通して、医療従事者として基本的なコミュニケーションができるように練習する。</li> <li>・比較的わかりやすい医療に関わる英文を読んだり聞き取ったりできるようになる。</li> <li>・英語の基本的な仕組みや文法を理解し、短い英文で基本的な表現ができるようになる。</li> </ul> ※ Unit終了時に小テストを行い、理解度の確認をはかる。		●				
0004915	50L01-1020SR-13	総合英語Ⅱ [火2]	必修	医療現場で使える英語を身に付けるということが目標です。その為、必要な語彙は覚えなければいけません。また、実際にコミュニケーションを取る為には相手の言っていることが理解できなければなりません。従って、リスニングにはそれなりの時間を割きます。その時に英語音声のルールも学びます。同時によく使われるフレーズなどを実際に発話してもらいます。		●		●		
0004916	50L01-1020SR-14	総合英語Ⅱ [火2]	必修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療英語に特有の単語を理解し、使えるようにすること</li> <li>・リスニング力を向上させること</li> <li>・高校までで学んだ基礎的な英文法を理解すること</li> <li>・医療英語に関する文章の内容を正しく理解できるようになること</li> <li>・クラスメイトと協力して課題を解決する力をつけること</li> </ul> また、Unit終了時に小テストを行い、理解度の確認をはかる。	●	●			●	
0005201	50S01-1021FE-00	芸術表現Ⅰ (造形の感性と創造) [理]	選択	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 水彩画の特性を理解し、基本的な描写ができる。</li> <li>2. デッサンを学び、基本的な描写ができる。</li> <li>3. 自らの価値観で美を発見し、それを視覚化できる。</li> <li>4. 完成した作品を皆で発表し、個性の違いを知ることができる。</li> <li>5. 様々な課題を通して、感性と創造力を養うことができる。</li> </ol>	●	●				

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学習目標	DP1-①	DP1-②	DP2-①	DP3-①	DP3-②	DP4-①
0005202	50S01-1021FE-01	芸術表現Ⅰ（造形の感性と創造） 〔看〕	必修	1. 水彩画の特性を理解し、基本的な描写ができる。 2. デッサンを学び、基本的な描写ができる。 3. 自らの価値観で美を発見し、それを視覚化できる。 4. 完成した作品を皆で発表し、個性の違いを知ることができる。 5. 様々な課題を通して、感性と創造力を養うことができる。	●	●				
0005203	50S01-1021SE-02	芸術表現Ⅰ（造形の感性と創造） 〔整〕	選択	1. 水彩画の特性を理解し、基本的な描写ができる。 2. デッサンを学び、基本的な描写ができる。 3. 自らの価値観で美を発見し、それを視覚化できる。 4. 完成した作品を皆で発表し、個性の違いを知ることができる。 5. 様々な課題を通して、感性と創造力を養うことができる。	●	●				
0005205	50S01-1021FE-03	芸術表現Ⅰ（造形の感性と創造） 〔看〕	必修	1. デッサンを学習し色や形、明暗などを理解する。 2. 絵具の特性を学習し、様々な描画を理解する。 3. 自らの感性で美を探求し、それを具現化する。 4. 完成した作品を皆で共有し、個々の感性の違いを発見する。 5. 様々な課題を学習して感性や創造力を向上させる。 6. 芸術への理解を深め、必要性や価値観を高める。	●	●				
0005301	50S01-1022FE-00	芸術表現Ⅱ（書の感性と創造） 〔理〕	選択	①書体の特徴を理解することができる。 ②楷書の基本点画をしっかりと書くことができる。□ ③行書の筆使いができる。 ④草書の字形を理解して書くことができる。□ ⑤隷書の字形・波法を理解して書くことができる。 ⑥篆書の字形・線質を理解して書くことができる。 ⑦体裁よく硬筆で書くことができる。 ⑧実用的な文字を正しく書くことができる。 ⑨小筆の使い方を理解することができる。 ⑩伝統的な書を学び豊かな心を育むことができる。	●	●				

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学習目標	DP1-①	DP1-②	DP2-①	DP3-①	DP3-②	DP4-①
0005302	50S01-1022FE-01	芸術表現Ⅱ（書の感性と創造） 〔看〕	必修	①書体の特徴を理解することができる。 ②楷書の基本点画をしっかりと書くことができる。 ③行書の筆使いができる。 ④伝統的な書を学び豊かな心を育むことができる。	●	●				
0005303	50S01-1022SE-02	芸術表現Ⅱ（書の感性と創造） 〔整〕	選択	①書体の特徴を理解することができる。 ②楷書の基本点画をしっかりと書くことができる。□ ③行書の筆使いができる。 ④草書の字形を理解して書くことができる。□ ⑤隸書の字形・波法を理解して書くことができる。 ⑥篆書の字形・線質を理解して書くことができる。 ⑦体裁よく硬筆で書くことができる。 ⑧実用的な文字を正しく書くことができる。 ⑨小筆の使い方を理解することができる。 ⑩伝統的な書を学び豊かな心を育むことができる。	●	●				
0005304	50S01-1022FE-03	芸術表現Ⅱ（書の感性と創造） 〔看〕	必修	1) 絵の楽しさと書の緊張感を通して、豊かな想像力を育むことができる。 2) 仕上がりが無数にある事に重きを置くので、独創性が磨かれる。 3) 伝統的な道具を使い、にじみを生かした淡い絵の技術、それに馴染む書の技術を習得する。 4) 自分や誰かの心と向き合い、伝えていく力を向上させる。 5) 日本の季節に触れ、心を整え豊かな感性を広げることができる。 6) 芸術による社会貢献や商業的な事例を、知見として学ぶことができる。	●	●				
0005401	50P01-1023FE-00	体育実技（体づくり運動）	選択	①「体づくり運動」の授業のねらいと内容を明確に理解できる ②「体ほぐしの運動(遊び)」の具体的な実践を通して理論と方法を理解できる ③「多様な動きを作る運動(遊び)」「体の動きを高める運動」「実社会に生かす運動の計画」の具体的な実践を通して理論と方法を理解できる ④模擬授業を行い、学んだ事を生かしながら授業の組み立て及び実践ができる ⑤授業で学んだ知識や方法を実生活でも生かし、健康な学生生活につなげることができる	●	●			●	
0005501	50P01-1024IE-00	体育実技（陸上競技）	選択	100m、400mリレー、ハードル走、1500m（1000m）等の自己記録の更新を目指し、どうやったら記録を更新できるかを考えながら練習し、挑戦する。	●	●			●	

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学習目標	DP1-①	DP1-②	DP2-①	DP3-①	DP3-②	DP4-①
0005601	50P01-1025IE-00	体育実技（器械運動）	選択	器械運動、縄跳びの技術習得、指導法について学ぶ。縄跳びについては、大縄やダブルダッチを経験することにより、跳ぶ力を楽しく学習し、結果的に縄跳び実践力向上に繋がるよう工夫を試みる。また器械運動の技の習得と指導法について学ぶ。	●	●			●	
0005701	50P01-1026IE-00	体育実技（サッカー）	選択	①サッカーの個人技術の向上 ②チームを通してのチーム戦術を理解し、組織的攻防が出来るようになる ③サッカーを通して生涯スポーツの重要性を学ぶ	●	●			●	●
0005801	50P01-1027SE-00	体育実技（柔道）	選択	①「柔道」の授業のねらいと内容を理解できる ②「柔道」の具体的な実践を通して理論と精神を理解できる ③「柔道指導法」の具体的な実践を通して理論と方法を理解できる ④模擬授業を行い、学んだ事を生かしながら、安全に配慮した柔道授業の組み立て及び実践が出来る ⑤授業で学んだ知識や方法を実生活でも生かし、健康な学生生活につなげる。	●	●			●	
0005901	50P01-1028IE-00	体育実技（ダンス）	選択	① ダンスに関する知識、理解 ・学習指導要領における「ダンス」の位置付け、特性、ねらいが理解できる。 ・「誰でもダンスが踊れる」という方法論が理解できる。 ② ダンスの実践力 ・ダンスの実践を通して、からだところのつながりを理解できる。 ・ひとまとまりの動きを堂々と他者に対して発表し、からだを使った表現ができる。 ・学んだ課題をからだを通して理解し、作品化することができる。 ③ ダンスの指導力 ・対象やねらいに応じたダンスの指導プログラム作成が理解できる。 ・対象やねらいに応じたダンスの指導が理解できる。	●	●			●	
0006001	50P01-1029IE-00	体育実技（水泳）	選択	・100m個人メドレー（スタート・ターンを含む）を、正しい泳法で完泳できる。 ・水中で自分の身体を巧みに操ることができる（立ち泳ぎを含む）。 ・安全管理・救助法について正しく理解し実践できる。	●	●			●	
0006101	50S01-1030FR-00	人間関係実践演習 I [理]	必修	1. 目的意識を持って大学生生活に臨む基本意識を形成する 2. 以下の基本的な対人関係スキルを身につける ① 人の話を傾聴し、理解するスキル（傾聴力・理解力） ② 自分の考えを整理し、適切な言葉でわかりやすく話すスキル（話力・発表力） ③ わからない事を適切な資料を選び、調べ、まとめるスキル（調査力） ④ 起こったこと、学んだこと、感じた事などを客観的にわかりやすい文書で伝えるスキル（報告力）	●	●	●	●	●	●



講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学習目標	DP1-①	DP1-②	DP2-①	DP3-①	DP3-②	DP4-①
0006102	50S01-1030FR-01	人間関係実践演習Ⅰ[整]	必修	1. 目的意識を持って大学生生活に臨む基本意識を形成する 2. 以下の基本的な対人関係スキルを身につける ① 人の話を傾聴し、理解するスキル（傾聴力・理解力） ② 自分の考えを整理し、適切な言葉でわかりやすく話すスキル（話力・発表力） ③ わからない事を適切な資料を選び、調べ、まとめるスキル（調査力） ④ 起こったこと、学んだこと、感じた事などを客観的にわかりやすい文書で伝えるスキル（報告力）	●	●	●	●	●	●
0006103	50S01-1030FR-02	人間関係実践演習Ⅰ[看]	必修	1. 目的意識を持って大学生生活に臨む基本意識を形成する 2. 以下の基本的な対人関係スキルを身につける ① 人の話を傾聴し、理解するスキル（傾聴力・理解力） ② 自分の考えを整理し、適切な言葉でわかりやすく話すスキル（話力・発表力） ③ わからない事を適切な資料を選び、調べ、まとめるスキル（調査力） ④ 起こったこと、学んだこと、感じた事などを客観的にわかりやすい文書で伝えるスキル（報告力）	●	●	●	●	●	●
0006204	50S01-1031FR-00	人間関係実践演習Ⅱ[理]	必修	1)医療の本質と医療を学ぶ者に求められていることを説明できる。 2)生命の驚異と神秘の仕組みを学び、生命への畏敬の念と尊厳の気持ちを理解できる。 3)生命を扱う医療人として生命倫理、医療倫理を理解できる。 4)他者のために働くことの意味を理解でき、また医療人としての活動範囲の広がり理解できる。 5)医療の対象となる患者の気持ち、家族の気持ちが理解できる。 6)対話をする上で自己の理解が不可欠であることを理解できる。 7)医療に不可欠な対話の大切さおよび面接技法について理解できる。	●	●	●	●	●	●
0006205	50S01-1031FR-01	人間関係実践演習Ⅱ[整]	必修	1)医療の本質と医療を学ぶ者に求められていることを説明できる。 2)生命の驚異と神秘の仕組みを学び、生命への畏敬の念と尊厳の気持ちを理解できる。 3)生命を扱う医療人として生命倫理、医療倫理を理解できる。 4)他者のために働くことの意味を理解でき、また医療人としての活動範囲の広がり理解できる。 5)医療の対象となる患者の気持ち、家族の気持ちが理解できる。 6)対話をする上で自己の理解が不可欠であることを理解できる。 7)医療に不可欠な対話の大切さおよび面接技法について理解できる。	●	●	●	●	●	●
0006206	50S01-1031FR-02	人間関係実践演習Ⅱ[看]	必修	1)医療の本質と医療を学ぶ者に求められていることを説明できる。 2)生命の驚異と神秘の仕組みを学び、生命への畏敬の念と尊厳の気持ちを理解できる。 3)生命を扱う医療人として生命倫理、医療倫理を理解できる。 4)他者のために働くことの意味を理解でき、また医療人としての活動範囲の広がり理解できる。 5)医療の対象となる患者の気持ち、家族の気持ちが理解できる。 6)対話をする上で自己の理解が不可欠であることを理解できる。 7)医療に不可欠な対話の大切さおよび面接技法について理解できる。	●	●	●	●	●	●

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学習目標	DP1-①	DP1-②	DP2-①	DP3-①	DP3-②	DP4-①
0006304	50S01-3032FR-00	人間関係実践演習Ⅲ〔理〕(多職種連携活動論)	必修	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 多職種連携が求められる背景について説明できる。</li> <li>② 保健・医療・福祉各領域における各職種の役割を理解し、尊重するとともに、自身が取得する職種の役割を説明することができる。</li> <li>③ チームの一員として目的(課題)達成のために協調することができる。</li> <li>④ リーダーシップを持ち、積極的に授業の課題に取り組むことができる。</li> <li>⑤ 自身が取得する職種をイメージして、自身の意見を述べるができる。</li> <li>⑥ 他職種と意見交換を行い療養者にとって最適な解決策を提案できる。</li> <li>⑦ 地域医療(支援)について関心を深めることができる。</li> </ul>	●	●	●	●	●	●
0006305	50S01-3032FR-01	人間関係実践演習Ⅲ〔整〕(多職種連携活動論)	必修	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 多職種連携が求められる背景について説明できる。</li> <li>② 保健・医療・福祉各領域における各職種の役割を理解し、尊重するとともに、自身が取得する職種の役割を説明することができる。</li> <li>③ チームの一員として目的(課題)達成のために協調することができる。</li> <li>④ リーダーシップを持ち、積極的に授業の課題に取り組むことができる。</li> <li>⑤ 自身が取得する職種をイメージして、自身の意見を述べるができる。</li> <li>⑥ 他職種と意見交換を行い療養者にとって最適な解決策を提案できる。</li> <li>⑦ 地域医療(支援)について関心を深めることができる。</li> </ul>	●	●	●	●	●	●
0006306	50S01-3032FR-02	人間関係実践演習Ⅲ〔看〕(多職種連携活動論)	必修	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 多職種連携が求められる背景について説明できる。</li> <li>② 保健・医療・福祉各領域における各職種の役割を理解し、尊重するとともに、自身が取得する職種の役割を説明することができる。</li> <li>③ チームの一員として目的(課題)達成のために協調することができる。</li> <li>④ リーダーシップを持ち、積極的に授業の課題に取り組むことができる。</li> <li>⑤ 自身が取得する職種をイメージして、自身の意見を述べるができる。</li> <li>⑥ 他職種と意見交換を行い療養者にとって最適な解決策を提案できる。</li> <li>⑦ 地域医療(支援)について関心を深めることができる。</li> </ul>	●	●	●	●	●	●
0006401	50L01-1033SE-00	国文学	選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>①読解力→文章を正しく読み、作者の考えや述べたいことを受け取る力の向上をめざします。</li> <li>②自分の意見をもつ力→社会や日常生活でも「あなたはどうか考えるか」ということを問われる場面多々あります。いい悪だけでなく、自分の考えをもつ練習をします。</li> <li>③自分の考えを伝える力→どのような説明を足し、どの順序で話を展開していくとわかりやすいのかなど、自分の考えを相手に理解してもらうために文章に書き、発表します。</li> <li>④質問する力→質問は相手を知りたいという気持ちの表れでもあります。疑問を感じて質問することで、より相手を理解することができるからです。同時に、相手や自分に新たな視点を提示することにもなります。発表と合わせて感想を伝え合い質問する力を高めていきます。</li> </ul>	●	●				

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学習目標	DP1-①	DP1-②	DP2-①	DP3-①	DP3-②	DP4-①
0006601	50L01-2034FE-00	実践医療英語 [前期]	選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療現場で使用される語彙や表現を理解し、医療現場に立った時にスムーズに使えるようにする</li> <li>・医療現場で行われる会話を聴きとって大体的内容を理解できるようにする</li> <li>・実際に医療現場で英語を使う場面を想定し、ロールプレイを行い動画を作成して発表できるようにする</li> </ul> また、Unit終了ごとに小テストを行い、自分で理解度をはかり復習ができるようにする。	●	●			●	
0006602	50L01-2034SE-01	実践医療英語 [後期]	選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療現場で使用される語彙や表現を理解し、医療現場に立った時にスムーズに使えるようにする</li> <li>・医療現場で行われる会話を聴きとって大体的内容を理解できるようにする</li> <li>・実際に医療現場で英語を使う場面を想定し、ロールプレイを行い動画を作成して発表できるようにする</li> </ul> また、Unit終了ごとに小テストを行い、自分で理解度をはかり復習ができるようにする。	●	●			●	
0006701	50L01-1035FE-00	英会話 (木1) [前期]	選択	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. To help students acquire language that will help them sound natural.</li> <li>2. To help students improve their speaking skills with fun and meaningful exercises.</li> </ol> 2. To encourage students to communicate confidently.	●	●	●	●	●	●
0006702	50L01-1035SE-01	英会話 (木1) [後期]	選択	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. To help students acquire language that will help them sound natural.</li> <li>2. To help students improve their speaking skills with fun and meaningful exercises.</li> </ol> 2. To encourage students to communicate confidently.	●	●	●	●	●	●
0006801	50L01-1036FE-00	ベーシック・イングリッシュ	選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで学んだ英語の文法事項を確実に理解することができる</li> <li>・簡単な会話文の聞き取りを行い、内容を理解することができる</li> <li>・短い英文を読み、その内容を理解することができる</li> </ul>	●	●			●	
0006802	50L01-1036FE-01	ベーシック・イングリッシュ	選択	文法事項を復習し、しっかりと覚える。問題演習を通して、しっかりと覚えられているかを確認する。間違えてしまった問題はなぜ間違えたのかを確認し覚えなおす。基本的な文を暗記し、主語・動詞・目的語・前置詞句など該当する箇所を入れ替えることで様々な文に変換できることを学ぶ。		●			●	

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学習目標	DP1-①	DP1-②	DP2-①	DP3-①	DP3-②	DP4-①
0006803	50L01-1036SE-02	ベーシック・イングリッシュ (木・5)	選択	文法事項を復習し、しっかりと覚える。問題演習を通して、しっかり覚えられているかを確認する。間違えてしまった問題はなぜ間違えたのかを確認し覚えなおす。基本的な文を暗記し、主語・動詞・目的語・前置詞句など該当する箇所を入れ替えることで様々な文に変換できることを学ぶ。		●			●	
0006804	50L01-1036FE-03	ベーシック・イングリッシュ	選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語の基本的な仕組みや文法を理解し、短い英文で基本的な表現ができるようになる。</li> <li>基本的な語彙、よく使う表現パターンを習得する。</li> <li>短い英文を読んだり聞き取ったりできるようになる。</li> </ul> ※ Unit終了時に小テストを行い、理解度の確認をはかる。		●				
0006805	50L01-1036SE-04	ベーシック・イングリッシュ (木・1)	選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語の基本的な仕組みや文法を理解し、短い英文で基本的な表現ができるようになる。</li> <li>基本的な語彙、よく使う表現パターンを習得する。</li> <li>短い英文を読んだり聞き取ったりできるようになる。</li> </ul> ※ Unit終了時に小テストを行い、理解度の確認をはかる。		●				
0006806	50L01-1036SE-05	ベーシック・イングリッシュ (月・3)	選択	文法事項を復習し、しっかりと覚える。問題演習を通して、しっかり覚えられているかを確認する。間違えてしまった問題はなぜ間違えたのかを確認し覚えなおす。基本的な文を暗記し、主語・動詞・目的語・前置詞句など該当する箇所を入れ替えることで様々な文に変換できることを学ぶ。		●			●	
0006901	50P01-1037FE-00	体育実技（ワークアウト）	選択	運動時の正確な動作（安全で効果的）について理解を深めることができる。 音楽と運動の相乗効果を実践をとおして理解することができる。 動きの中から正しいアライメントについて理解できる。 身体を動かすことの楽しさと、運動の効果を得ることができる。 （筋力、柔軟性の向上、持久力の向上、減量、ストレス発散など）	●	●	●			
0006902	50P01-1037FE-01	体育実技（ワークアウト）	選択	運動時の正確な動作（安全で効果的）について理解を深めることができる。 音楽と運動の相乗効果を実践をとおして理解することができる。 動きの中から正しいアライメントについて理解できる。 身体を動かすことの楽しさと、運動の効果を得ることができる。 （筋力、柔軟性の向上、持久力の向上、減量、ストレス発散など）	●	●	●			

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学習目標	DP1-①	DP1-②	DP2-①	DP3-①	DP3-②	DP4-①
0006903	50P01-1037SE-02	体育実技（ワークアウト）	選択	運動時の正確な動作（安全で効果的）について理解を深めることができる。 音楽と運動の相乗効果を実践をとおして理解することができる。 動きの中から正しいアライメントについて理解できる。 身体を動かすことの楽しさと、運動の効果を得ることができる。 （筋力、柔軟性の向上、持久力の向上、減量、ストレス発散など）	●	●	●			
0006904	50P01-1037SE-03	体育実技（ワークアウト）	選択	運動時の正確な動作（安全で効果的）について理解を深めることができる。 音楽と運動の相乗効果を実践をとおして理解することができる。 動きの中から正しいアライメントについて理解できる。 身体を動かすことの楽しさと、運動の効果を得ることができる。 （筋力、柔軟性の向上、持久力の向上、減量、ストレス発散など）	●	●	●			
0006905	50P01-1037FE-04	体育実技（ワークアウト）	選択	運動時の正確な動作（安全で効果的）について理解を深めることができる。 音楽と運動の相乗効果を実践を通して理解することができる。 動きの中から正しいアライメントについて理解し、安全で効果的なワークアウトを実践する。 身体を動かすことの楽しさと、運動の効果を得ることができる。 （筋力、柔軟性の向上、持久力の向上、減量、ストレス発散など）	●	●	●			
0006906	50P01-1037SE-05	体育実技（ワークアウト）	選択	運動時の正確な動作（安全で効果的）について理解を深めることができる。 音楽と運動の相乗効果を実践を通して理解することができる。 動きの中から正しいアライメントについて理解し、安全で効果的なワークアウトを実践する。 身体を動かすことの楽しさと、運動の効果を得ることができる。 （筋力、柔軟性の向上、持久力の向上、減量、ストレス発散など）	●	●	●			
2000301	50L07-1039SO-00	教育心理学〔整・看〕	自由	・児童・生徒の特徴について理解し、子どもが成長するために必要とされる事柄を説明出来る。 ・各回の内容から、青年期に至るまでの発達の経過や発達障害等の問題についても理解を深める。 ・授業で提示された様々な用語を理解し、他者に説明することが出来る。 ・自身が教員になった時のことを想定しながら、講義を聴くことが出来る。	●	●				
2000302	51L07-1001SO-00	教育心理学〔理〕	選択	・教育や指導の場面で対象者を理解するために心理学の知見を役立てることが出来るようになる。 ・各回の内容から発達の経過に理解を深める。 ・授業で提示された様々な用語を理解し、他者に説明することが出来る。 ・自分自身が教育・指導を行う立場になった時のことを想定しながら、講義を聴くことが出来る。	●	●				

講義コード	ナンバリング	講義名称	必修/選択	個別学習目標	DP1-①	DP1-②	DP2-①	DP3-①	DP3-②	DP4-①
2001201	53L07-2001FO-00	道德教育の理論と実践〔看〕	自由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道德とは何かを理解し、道德教育の本質や理念について正しく理解することができる。</li> <li>・ 道德性の発達段階を理解し、それに応じた道德教育を考案することができる。</li> <li>・ 「特別な教科 道德」の授業の進め方について理解し、学習指導案を作成する能力を身につけることができる。</li> <li>・ 「特別活動」の指導のあり方と指導方法について理解することができる。</li> </ul>	●	●				
2004101	50L07-2043SO-00	教育相談	自由	<p>次の2点を理解し、他者に説明出来るようになることを主要な目的とします。</p> <p>①教育相談が、『どこで』『誰が』『何を』『どのように』行うものか</p> <p>②対象者の立場から見た教育相談</p> <p>また、受講者自身が教員として教育相談を行うことを想定出来るようになることを望みます。</p>	●	●				
7303015	50P01-1057IE-00	体育実技（バレー・バスケ）	選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>① バレーボール、バスケットボールの個人技術の向上</li> <li>② チームを通してのチーム戦術を理解し、組織的攻防が出来るようになる</li> <li>③ 教職に就いた際に、授業組み立てがしっかりと出来るようになる</li> <li>④ 生徒を安全にいかにも楽しく授業できるかを考えて授業展開を図れるようになる</li> </ul>	●	●			●	
7303016	50P01-1057IE-01	体育実技（バレー・バスケ） 〔理・整〕	選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>① バレーボール、バスケットボールの個人技術の向上</li> <li>② チームを通してのチーム戦術を理解し、組織的攻防が出来るようになる</li> <li>③ 教職に就いた際に、授業組み立てがしっかりと出来るようになる</li> <li>④ 生徒を安全にいかにも楽しく授業できるかを考えて授業展開を図れるようになる</li> </ul>	●	●			●	